

第二十七回 帝國議會 貴族院議事速記録第二十號

明治四十四年三月二十日(月曜日)

午後三時四分開議

議事日程 第二十號 明治四十四年三月二十日

午後三時開議

- 第一 行政裁判法中改正法律案兩院協議委員ノ選舉
- 第二 明治四十四年度歲入歲出總豫算追加案(第四號)審查期限ヲ定ムルノ件
- 第三 大藏省預金部ノ利益金ヲ一般會計ニ繰入ルル件ニ關スル法律案(政府提出案)
- 第四 明治四十四年度歲入歲出總豫算追加案(第二號)
- 第五 明治四十四年度特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號)
- 第六 明治四十四年度歲入歲出總豫算追加案(第三號)
- 第七 明治四十四年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第二號)
- 第八 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)
- 第九 租稅外諸收入金整理ニ關スル法律案(府提出案)
- 第十 關稅法中改正法律案(政府提出案)
- 第十一 賣藥稅法中改正法律案(政府提出案)
- 第十二 砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル法律案(政府提出案)
- 第十三 司法事務共助法案(政府提出案)
- 第十四 執達吏手數料規則中改正法律案(政府提出案)
- 第十五 明治三十九年法律第三十一號中改正法律案(政府提出案)

- 第一讀會ノ續(委員長報告)

- 第十六 軍人恩給法中改正法律案(政府提出案)
- 第十七 明治三十三年法律第七十六號中改正法律案(政府提出案)
- 第十八 明治三十三年法律第七十五號同三十五年法律第二十九號準用ニ關スル法律案(政府提出案)
- 第十九 朝鮮銀行法案(政府提出案)
- 第二十 印紙稅法中改正法律案(衆議院提出)
- 第二十一 煉乳原料砂糖戻稅法中改正法律案(衆議院提出)
- 第二十二 貴族院及衆議院速記技手在官年月數ニ關スル法律案(衆議院提出)
- 第二十三 地租條例中改正法律案(衆議院提出)
- 第二十四 登録稅法中改正法律案(衆議院提出)
- 第二十五 國稅徵收法中改正法律案(衆議院提出)
- 第二十六 營業稅法中改正法律案(衆議院提出)
- 第二十七 鐵道敷設法中改正法律案(衆議院提出)

- 第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

〔東久世書記官朗讀〕

- 一 昨十八日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ
- 在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案
- 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案
- 府縣立師範學校校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案
- 間島ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル法律案
- 韓國鐵道會計所屬資金ノ繰入ニ關スル法律案
- 電氣事業法案
- 同日本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ奏

上シ又承諾スヘキモノト議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

明治四十二年豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治四十二年豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治四十二年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治四十二年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治四十二年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

同日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ衆議院提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ回付セリ

行政裁判法中改正法律案

同日本院ニ於テ可決シタル國民道德教育ノ振興ニ關スル建議ハ文書ヲ以テ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

明治二十三年法律第百三號廢止法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ否決シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

商法施行法中改正法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ衆議院提出案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

砂糖消費稅法中改正法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ衆議院提出案ハ同院ニ於テ本院ノ修正ニ同意セサルコトニ決議シタル旨ヲ以テ兩院協議會ヲ開クノ請求ヲ受ケ又同時ニ同院ヨリ協議委員ノ數ヲ十名トナスコトニ決セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

行政裁判法中改正法律案

同日商法中改正法律案外一件兩院協議委員正副議長互選ノ結果左ノ通當選

セリ

議長 男爵波多野敬直君 副議長 富井 政章君

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

租稅外諸收入金整理ニ關スル法律案外七件特別委員會

委員長 伯爵廣澤 金次郎君 副委員長 男爵目賀田種太郎君

司法事務共助法案外一件特別委員會  
委員長 男爵岡内 重俊君 副委員長 馬屋原二郎君

大藏省預金部ノ利益金ヲ一般會計ニ繰入ルル件ニ關スル法律案特別委員會  
委員長 伊澤 修二君 副委員長 中島 永元君

明治三十九年法律第三十一號中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵吉井 幸藏君 副委員長 子爵前田 利定君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ  
司法事務共助法案可決報告書  
執達吏手數料規則中改正法律案可決報告書  
大藏省預金部ノ利益金ヲ一般會計ニ繰入ルル件ニ關スル法律案可決報告書

明治三十九年法律第三十一號中改正法律案可決報告書  
請願委員會特別報告第八號

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ  
明治四十四年度歲入歲出總豫算追加案(第四號)

同日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ  
印紙稅法中改正法律案

煉乳原料砂糖戻稅法中改正法律案  
貴族院及衆議院速記技手在官年月數ニ關スル法律案

昨十九日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ  
軍人恩給法中改正法律案外二件特別委員會

委員長 男爵小澤 武雄君 副委員長 男爵有地 品之允君

朝鮮銀行法案特別委員會  
委員長 子爵曾我 祐準君 副委員長 子爵入江 爲守君

鐵道敷設法中改正法律案特別委員會  
委員長 伯爵柳澤 保惠君 副委員長 子爵松平 直平君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ  
租稅外諸收入金整理ニ關スル法律案可決報告書

關稅法中改正法律案可決報告書

賣藥稅法中改正法律案可決報告書

砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル法律案可決報告書

朝鮮銀行法案可決報告書

軍人恩給法中改正法律案可決報告書

明治三十三年法律第七十六號中改正法律案可決報告書

明治三十三年法律第七十五號同三十五年法律第二十九號準用ニ關スル法律案可決報告書

地租條例中改正法律案否決報告書

登錄稅法中改正法律案否決報告書

國稅徵收法中改正法律案可決報告書

鐵道敷設法中改正法律案否決報告書

營業稅法中改正法律案可決報告書

本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

樺太ニ於ケル漁業免許ノ取消及漁業料ノ徵收ニ關スル法律案可決報告書

市制改正法律案可決報告書

町村制改正法律案可決報告書

東京市及大阪市ニ關スル法律案否決報告書

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、行政裁判法中改正法律案兩院協議委員ノ選舉、此協議委員ノ選舉ハ議長ニ御一任ニ相成リマシテ御異存アリマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、直チニ協議委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官長朗讀〕

行政裁判法中改正法律案兩院協議委員

侯爵黒田 長成君 松岡 康毅君 子爵酒井 忠亮君

山 脇 玄君 男爵周布 公平君 平山 成信君

藤田 四郎君 奥山 政敬君 石渡 敏一君

高木 豊三君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二、明治四十四年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)審査期限ヲ定ムルノ件

〔左ノ送付文ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕  
(第四號)明治四十四年度歳入歳出總豫算追加案  
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也  
明治四十四年三月十八日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵德川家達殿

○子爵曾我祐準君 本案ハ明日ノ十二時マデニ審査報告ヲ致スコトニ、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

○子爵堤功長君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三、大藏省預金部ノ利益金ヲ一般會計ニ繰入ルル件ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕  
大藏省預金部ノ利益金ヲ一般會計ニ繰入ルル件ニ關スル法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
明治四十四年三月十八日

右特別委員長

伊澤修二

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伊澤修二君演壇ニ登ル〕

○伊澤修二君 諸君、御委託ニナリマシタル大藏省預金部ノ利益金ヲ一般會計ニ繰入ルル件ニ關スル法律案ニ付キマシテ、委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申シマス、一昨十八日該委員等ハ委員長竝ニ副委員長互選ノ後、直チニ開

會イタシマシテ、委員全體ノ可決ヲ以テ本案ヲ決定イタシマシタ、茲ニ之ヲ御報道イタシマスルノハ本員ノ光榮トスル所デゴザイマス、抑、本案ノ基ク所ハ、昨年ノ議會ニ於キマシテ、學校教員ノ待遇ニ關シ本員ヨリ建議ヲ提出イタシマシタ、是ニハ大多數ノ御贊成ヲ得マシタコトハ諸君ノ御記憶ニ存シ居ルコト、考ヘマス、然ルニ先日、豫算委員長會我子爵ヨリモ御報道ノゴザイマシタル如ク、本年ノ豫算ニハ此建議ニ對シマシテ何等ノ費用ヲモ計上シテゴザイマセヌ、依ッテ豫算委員中ニモ痛切ナル質問ヲナシタ者モアリマシタ次第デゴザイマス、其時ニ大藏大臣ノ辯明セラレマシタ所ハ、是非其建議ニ付キマシテ、教員俸給國庫補助ノ計畫ヲシタイト思ヒマシタケレドモ、何分政府ノ費用ノ多端ナル、到底ソコニ及バズシテ、本年ノ豫算ハ出來タ次第デアリマスル、然ルニ紀元節ニ當リマシテ、誠ニ有難イ 詔勅ガゴザイマシタ、其中ノ御言葉ニハ「教ヲ敦クシ」云々ト云フコトガゴザイマス、抑、教化ヲ敦クスルト云フコトハ、教員ノ良イ者ヲ得ルヨリ外ハナイ、又良教師ヲ得ヤウト云フニハ、教員ノ俸給ヲ厚クシテ、經濟上悲惨ノ境遇ニ陥ルト云フヤウナ者ガ無クシテ、安ジテ其職ニ就カシムルヨリ外ハナイ、故ニ此御言葉ノゴザイマシタ以上ハ何事ヲ措イテモ國庫ヨリ小學校教員俸給ノ補助ヲ爲サナクテハナラヌト云フコトニ決定セラレマシタ、ケレドモ何分ニモ最早今年ノ豫算ハ決定ノ後デゴザイマシテ、固ヨリ財源ニ餘裕ノアル道理ハゴザイマセヌ、故ニ已ムヲ得ズ大藏省預金部利益金ノ一部、即チ一百万圓ヲ割イテ此費途ニ向クルコトニ……遂ニナリマシタ次第デゴザイマス、併ナガラ諸君ノ能ク御承知アラセラレマスル通り、預金部ノ資金ト云フモノハ、主トシテ郵便貯金ヨリ成リマスルノデ、申サバ小民ノ零碎ノ金ヲ集メマシテ、之ヲ運轉シテ利益ヲ生ズル所ノモノデアリマスカラシテ、容易ニ是ハ他ニ使用スベキモノデハゴザイマセヌ、唯慈善的ノコト、若クハ教育ト云フヤウナコトニハ、之ニ限ッテハ使用シテモ宜カラウト云フヤウナ詮議モゴザイマシテ、遂ニ其預金部ノ利益金ヲ以テ一般ノ會計ニ組入レマシテ、然シテ之ヲ教員俸給補助ニ用ウルト云フコトニナリマシタ次第デゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ、委員中ヨリ種々ノ質問モゴザイマシタ、其重モナルモノハ此金額ノ使用ノ方法ハ、ドウ云フ風ニスルノデアルカト云フコトガ、重モナル中ノ一デゴザイマシタ、委員會ニハ文部大臣竝ニ次官モ出テ居ラレマシテ、即チ文部大臣ノ説明セラル、ニハ、是ハ市町村立小學校教育費國庫補助法ニ依リマシテ之

ヲ使用スル積リデアル、其國庫補助法ト申シマスルノハ、小學校教員ノ中、五箇年以上勤績シタ者ガアリマシテ、シカモ成績ノ佳良ナル者ニ限ッテ増俸ヲスルト云フ、即チ年功加俸、竝ニ僻陬ノ土地ニ在勤シテ居リマス所ノ者ニ補助ヲ與ヘマス特別加俸、此二ツデゴザイマス、此度此一百万圓ノ補助ガゴザイマスル以上ハ、從前ヨリモ加俸ノ額ニモ厚ク致シマシテ、且又其人員ヲモ廣クスルコトニ致シタイ、從前ハ年功加俸ハ二十四圓乃至三十六圓デアリマシタモノヲ、六十圓マデモ増スコトニ致シタイ、又特別加俸ノ方ハ十八圓ヨリ二十四圓デゴザイマシタモノヲ三十六圓マデモ増シタイト云フコトデアルト云フコトデゴザイマス、之ニ次イデ又小學校教員ノ俸給ノ高、竝ニ今日ノ生活狀態等ニ付キマシテモ委シク問答ガゴザイマシタ、最後ニ委員中ノ一人ヨリ希望ガゴザイマシテ、ソレハ此小學校教育費國庫補助法ト云フ此法律ニ據リマスト云フト、即チ此一百万圓ハ文部省ヨリシテ各府縣ニ配付イタシマシテ、各府縣ノ學齡兒童、竝ニ就學兒童ニ比例シマシテ、各府縣ニ渡シマシテ、實際之ヲ施行イタシマスルノハ府縣知事ガ其局ニ當ッテ居ル譯デゴザイマス、ソレ故ニ隨分、各府縣ニ依リマシテ甚ダ不平均ガアリマス、又其間ニ隨分不公平ナルコトガアルヤノコトモ聞エテ居ルノデゴザイマス、唯今ノ不平均ノアリマスルト云フノハ、極ク少ク教員ニ補助スル方ノ例ヲ言ヒマスルト、五割四分グラキナノモアリマス、又非常ニ多額ニ出シマス所ハ九割四分グラキノモノモアリマス、ソレデ最近ノ調査ニ依ッテ見マスルト五年以上勤績者ノ數ハ全國デ四万八千四百九人ゴザイマス、其中デ成績佳良ト認メマシテ年功加俸ヲ受ケル者ガ三万六千二百三十四人、又其年功加俸ヲ受クルニ至ラザル者ガ一万二千七百七十五人ゴザイマス、即チ之ヲ受クル者七割四分、之ヲ受ケザル者ガ二割六分、即チ一万二千二百餘人ト云フ者ハ此恩典ニ與カルコトガ出來ズニ居リマス、然ルニ本院ヨリ建議イタシマシタ趣意ハ普ク小學校教員ノ俸給ヲ増シタイト云フコトノ精神デアリマスカラ、成ルベクドウゾ之ヲ廣ク行渡ルヤウニ致シタイ、厚クスルコトモ無論、厚クナリマスルコトヲ望ミマスルケレドモ、成ルベク廣ク及ブコトニ致シタイト云フコトデゴザイマス、其受クル割合ハ八割以上九割五分ニ至ルヤウニ致シタイト云フコトノ希望デゴザイマシタ、ドウゾ此趣意ヲ以テ文部當局者ヨリ各府縣知事ニ訓令セラレタイト云フコトノ希望デゴザイマシタ、當局者ニ於テモ其意ヲ諒トセラレタイト云フコトデゴザイマス、此度ノ此國庫補助ノ金額ハ唯一百万圓ニ止マリマシ

テ、多額ト申ス譯デハゴザリマセケレドモ、上ハ有難イ 詔勅ノ御言葉ニ依リマシテ、總理大臣ガ之ニ感奮サレ、非常特別ナル處分ニ依ッテ其財源ヲ求メラレマシテ、遂ニ本案ノ成立ニ至リマシタコトデゴザリマスルカラシテ、小學校教員等ハ聖恩ノ厚キ彼等ノ子女ニマデ及ブコトニ感泣イタシマシテ愈、益、身心ノ全力アラム限リヲ盡シテ以テ 陛下ノ赤子ヲ保育教養シ、善良ナル臣民タラシムコトニ全力ヲ盡スト云フコトハ、本員等聊カ信ジテ疑ハナイコトデアリマス、右ノ次第デゴザリマスル故ニ、何卒全院ノ諸君ニ於カレマシテモ本案ニ御賛成ヲクダサレマシテ速ニ御可決アラムコトヲ希望イタシマス、尙ホ附加ヘテ申上ゲマスルガ、本案ノ性質ハ右申ス次第デゴザイマスルカラ、願ハクハ讀會ヲ省略イタサレマシテ直チニ御可決クダサレムコトヲ切望イタシマス

○子爵會我祐準君 讀會省略賛成

○男爵金子有卿君 讀會省略賛成

○男爵石黒忠恵君 チョット委員長ニ質問ガアリマス、唯今ノ御説明ヲ承リマスルト、本案ノ成立チマシタ歴史ヲ御述ベニナリマシタガ、委員長ノ御言葉ニ依リマスルト、委員長ガ御提出ニナッテ昨年我々ガ賛成イタシマシタ所ノ建議案ニ基キ、又紀元節ノ 詔勅ニモ基クト云フヤウナ御説明デゴザイマシタガ、全ク當局大臣ガ本案説明ニ付イテ此二ツノコトヲ御列ベニナリマシテ御説明ニナリマシタ譯デゴザイマス

○伊澤修二君 全ク左様デゴザイマス、即チ豫算委員會ニ於テハ總理大臣兼大藏大臣タル桂侯爵ヨリノ御説明ガゴザイマシタ、又委員會ニ於キマシテモ文部大臣ヨリ御説明ガアリマシタコトデゴザイマス

○男爵石黒忠恵君 然ラバ當局大臣ニ伺ヒマスルガ是ハ全ク其紀元節ノ 詔勅ニ基イテ御發シニナリマシタノデナク、紀元節ノ 詔勅ト、ソレカラ昨年ノ建議ト此二ツニ基イテト云フコトデゴザイマスルカ

〔國務大臣小松原英太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(小松原英太郎君) 御答ヘ致シマスルガ、小學校ノ教員ノ待遇ヲ厚ウスルト云フコトニ付キマシテハ、前議會ニ於テ貴族院ノ建議モゴザイマシタ、又當局ニ於テモ夙ニ必要ヲ認メテ居ルコトデゴザイマスルノデ、何トカ是非ハ相當ノ金額ヲ支出シテ教員ノ待遇ヲ厚ウスルヤウニシタイト云フコトハ、豫ネテ考慮イタシテ居ッタデアリマス、然ルニ豫算編製ノ際ニ於キマ

シテハ國費多端ニシテ通常豫算ニ計上シテ之ヲ請求スルコトガ出來ナカッタデアリマス、然ルニ紀元節ニ於キマシテ有難キ 詔勅ヲ賜ハリマシタノデゴザイマス、其中ニ「教ヲ敦クシ」云々ト云フ御言葉ガゴザイマシタノデ、是ハ聖旨ニ奉答スル所以ノ道ヲ講ズルニ於テ是非トモ此教員ノ待遇ヲ厚ウシテ以テ其人ヲ得、其職ニ安ンジテ盡スヤウナ途ヲ講ゼヌケレバナラスト云フコトデ、内閣ニ於キマシテ此聖旨ニ感奮イタシマシテ、種々練合セラ付ケマシテ預金部ノ利益ノ一部ヲ之ニ充ツルコトニ致シタ次第デアリマス、此趣意ヲ以テ委員會ニ於テモ御答ヘテ致シタ次第デアリマス、ソレデ昨年即チ前議會ニ於テ貴族院ヨリ建議ノアリマシタニ基キマシテ、豫ネテ當局ニ於テモ必要ヲ認メテ居ルコトデゴザイマスカラ、苦心ヲ致シテ居ッタデアリマス、尙ホソコヘ有難キ 詔勅ヲ賜ハリマシタニ付キマシテ、特ニ計畫ヲ立テマシテ追加豫算ヲ請求スルニ至ッタ次第デアリマス、此度特ニ預金部ノ利益ノ一部ヲ教育費國庫補助ニ充ツルコトニ致シマシタ次第ハ此度 詔勅ヲ賜ハリマシタニ付キマシテ、此聖旨ニ奉對スル所以ノ途ヲ講ズルニ於テ、特ニ此練合セラ致シテ茲ニ諸君ノ御協賛ヲ得ルニ至ッタ次第デアリマス、左様御承知ヲ請ヒマス

○男爵南光利君 讀會省略ニ賛成イタシマス

○男爵辻新次君 賛成

○男爵伊丹春雄君 賛成

○男爵徳川厚君 賛成

○男爵高木兼寛君 賛成

○田中芳男君 賛成

○男爵眞田幸世君 賛成

○男爵野田裕通君 賛成

○伯爵廣澤金次郎君 賛成

○田島竹之助君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 伊澤君ノ讀會省略ノ動議ニ定規ノ賛成者ガゴザイマシタ、讀會省略ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案、特別委員長ノ報告通りテ御異存ゴサイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第四、明治四十四年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)、第五、明治四十四年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)、第六、明治四十四年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)、第七、明治四十四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)、第八、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)、會議、委員長報告

一 明治四十四年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

一 明治四十四年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

一 明治四十四年度歳入歳出總豫算追加案(第三號)

一 明治四十四年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)

一 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月十七日

豫算委員長

子爵 曾我 祐準

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 今日ノ日程ノ第四ヨリ第八ニ至ル五案ノ委員會ノ様子ヲ御報告申上ゲマス、此五案ハ過グル十七日ニ何レモ議了イタシマシタ、五案共ニ分科ニ付セズシテ直チニ總會ニ於テ議了イタシマシタ、本案ニ對シテハ澤山ナ質問モアリマシタ、又希望ノ様ナコトモアリマシテ、午前午後ニ互リマシテ十分ニ審査ヲ致シマシタ、唯今ノ五案ノ中、第一ヨリ順序ニ申上ゲマスガ、總豫算追加ノ第二號ヲ前キニ申上ゲマス、本案ハ唯今此席ニ於テ伊澤委員長ノ報告ニナリマシタル所ト全ク同ジ事柄ヲ豫算ノ形ヲ以テ出テ居ルコトデアリマス、本員ガ承ツタ所ヲ申シマスレバ、本案提出ノ理由ハ紀元節ノ優渥ナル 勅語ニ基キマシテ、其中ニ「教ヲ敦クシ以テ健全ノ發達ヲ遂ケ

シムヘシ」ト云フ御言葉ガアルニ付イテ、其 勅語ニ奉答スル爲ニ既定ノ百萬圓ノ上ニ更ニ百萬圓ヲ増加シテ此追加案ヲ出シタト云フ説明ヲ得マシタ、此案ノ歳入歳出トモニ百萬圓デアリマスガ、先ヅ歳入ノ方カラ申シマスレバ、實ニ是ハ一種特別ナ財源デゴザイマス、質問ノ結果ニ於テ得タル所ヲ申シマスレバ、預金利子ト云フモノハ年々三百萬圓バカリ利益ガアル、サリナガラ産業ノ資金トシテ極メテ薄利ニ之ヲ貸出ス積リデアルカラ、大ニ是ハ減少スルデアラウ、併シ預金部ニ是マデ積立テ、アル所ノ利子ト云フモノガ二千五百萬圓ホドアル、此利子ヲ四朱ノ利ト見テモ百萬圓ハアル、二千五百萬圓ノ四朱デアルカラ百萬圓ハアル、即チソレハ利子ノ利子デ預金部ニ利子トシテ積立テ、アルモノニ其又利子ヲ付ケルト見テモ百萬圓ハアル、ソレ故ニ此財源ハ確實ナモノデアアル、又何故ニ一般會計ヨリ出サヌノデアルカ、本年ハ豫算ノ編製ヲ終ッテ居ルカラ格別デアアルガ、來年カラハ一般會計ヨリ出シテ宜カリサウナモノデアアル、斯様ナ問ヒガアリマシタ、トコロガ政府デハドウモ財源ガ無い、今日ノ内閣ガ執ッテ居ル豫算編製ノ方針ハ、財源ノ無いモノハ決シテ支出ニシナイト云フ方針ヲ執ッテ居ルカラ、之ヲ變ヘルコトハ出來ナイ、是ニシテ置ケバ確實デアルカラ特別ナ財源ヲ取ッタノデアアル、斯様ナ説明デアリマシタ、又支出ニ付キマシテモ色々質問ガアリマシタ、其支出ノ方法ハ前キニ伊澤委員長ガ述べラレマシタノト同ジコトデゴザイマスカラ、ソレハ總テ省キマス、其範圍ヲ廣クシ金高ヲ増スト云フコトノ……年功加俸ト云フコトニ付イテ範圍ヲ擴メ金高ヲ増スト云フコトハ伊澤君ノ述べラレタト同一デアリマス、委員中ヨリ何故ニ俸給ヲ増サズニ年功加俸ノミニシタカ、ソレハ本院ノ昨年ノ建議ノ趣意ニハ違フデハナイカト云フ詰問的ノ質問モアリマシタ、政府ハ限リアル財源ヲ以テ各種ノ事ニハ支出シ能ハヌノデアアル、政府ノ見ル所デハ今日教育上ノ必要トシテハ小學校教員ノ年功加俸ガ最モ適當デアアル、最モ必要デアルト認ムルノデアアル、限リアル金ヲ以テ各種ニハ使ヘヌカラ是ガ一番必要ト認ムルカラ之ニ使フ、斯様ナ説明デアリマシタ、右等質問モ終リマシテ討議ニ移リマシタ、此時一委員ハ賛成ノ意思ヲ以テ述べテ申サレマスニ、本年ノ豫算ニ教員俸給増加ノ計上サレテナカッタノハ甚ダ遺憾ト考ヘテ居ッタ、然ルニ圖ラズモ有難キ聖旨ニ基イテ追加豫算トシテ茲ニ此案ヲ議スルニ至ッタノハ實ニ感激ノ至リニ堪ヘヌ次第デアアル、今日ノ急務ハ實ニ教育ニアリ、教育ノ急務ハ教員ノ精選ニアリ、教員ノ精選タ

ルヤ優待ヨリ先キナルハナシト云フ趣意ヲ以テ、深ク感謝ノ意ヲ以テ賛成ノ演説ヲ終ラレマシタ、勿論ノコト此案ニ付イテ一人ノ反對モ無ク、全會一致ヲ以テ可決イタシマシタ、更ニ又二三ノ希望ト申シマセウカ、警告ト申シマセウカ、當路者ニ向ッテノ先ヅ希望デアリマス、ソレハ隨分盛シナ希望デアリマス、一ツハ補助金ノ分配率ノコトデアリマスガ、教員ノ數トカ若クハ小學生徒、兒童ノ數トニ比例シテ之ヲ渡スヤウニシタラ宜カラウト云フ意見ガ一ツ、ソレカラ又一ツ……元來、年功加俸ノ分配ニ付イテハ不公平ノ聞エガアル、宜シク當局者ハ嚴重ニ訓戒シテ之ヲ戒スベキデアル、斯ウ云フヤウナ警告デアル、今一ツハ唯今此追加豫算ヲ以テ教育費ノ増加ヲ議スルノハ……提出サレタノハ誠ニ結構デアルガ、元來マダ甚ダ不十分デ、日本ノ教育上ニ使フ所ノ金ハ甚ダ不十分デアル、我が邦人ホド學問好キナ人ハ凡ソ世界ニアルマイト思フガ、又我が政府ノ如ク教育ニ金ヲ出スコトヲ嫌フモノモ多クアルマイト思フ、政府ニ於テ是マデ各省ノ殘リ金グラキヲ持ッテ來テ、ドウカ、斯ウカ教育費ニ充テ、居ルガ、斯ノ如キコトデハ到底埒ノ明クモノデハナイ、大々的ニ國庫ヨリ教育費ヲ支出スルノ計畫ヲ當路者ハ宜シク採ルベキデアルト大ニ大希望ヲ述ベラレマシタ、獨ヲ得テ……隴ヲ得テ獨ヲ望ムノ大希望ヲ述ベラレマシタ、是等發言ノ諸君ハ非常ナル熱心ヲ以テ御述ベニナリマシタニ依ッテ本員ハ茲ニ一ノ希望ガアリマス、是ハ政府ニ向ッテノ希望デアリマセヌ、議員諸君ニ向ッテ此速記録ヲ能ク御覽クダサイト云フ希望ヲ玆ニ述ベ置キマス、特第一號、是ハ前案ト殆ト同一ノコトデアリマシテ、唯豫算上斯ノ如キ仕組ニナルデアリマス、是モ勿論何等ノコトモ無ク可決イタシマシタ、總豫算追加第三號、本案ハ各省ニ互ッテ居リマス、金高モ餘リ少クハアリマセヌ、朝鮮事業公債ガ千二百三十二萬餘圓モアリマス、歲入トシテ「ペスト」血清ノ代償、朝鮮特別會計ノ繰入、朝鮮事業公債補充金、尙ホ一ツハ前年度繰入金六十五萬圓、此案ニ於テ各省ニ使用サレル所ノ金ハ此最後ニ申シマシタ六十四萬圓、主トシテ此案ノ支出ノ金ニナルデアリマス、歲出ノ部ニ於キマシテ各省ニ互ッテ居リマスガ、金高ノ最モ多イノハ大藏省デアリマスルケレドモ、是ガ國債整理基金繰入デ朝鮮ニ係ルモノデアリマス、朝鮮ニ係ル公債補充金デアリマスカラ、是ハ殆ト説明ノ必要ハアリマセヌ、少シ變リマシタノハ外務省デアリマス、外務省ノ部ニ五千何十圓ト云フモノガアリマスガ、是ハ海牙ノ平和宮殿ニ寄附シタ所ノ日本ノ綴錦ノ代價デ

アリマス、此平和宮ノ一室ヲ日本ノ美術ヲ以テ飾ルト云フコトニナッテ、曩ニ既ニ綴錦デ壁ヲ張ルコトニナッテサウデアリマスガ、幾分足ラヌサウデアリマス、間取リガ變ッタモノカ何カ存ジマセヌガ不足スルサウデアリマス、其不足ノ綴錦ヲ贈ル爲ノ價ダサウデアリマス、ソレカラ各省ニ互リマシテ三箇所營繕費ト云フモノガアリマスガ、此營繕費ハ皆共ニ火災ノ損害、即チ火災ノ跡ノ復舊ノ費用デアリマス、ソレハ大藏、司法、文部ニ互ッテ金高ハ多少違ヒハアリマス、内務省ガ一番此内デ口數ガ多クゴザイマス、六ツバカリアリマスガ、其四ツハ昨年ノ水害ニ係ル直接若クハ間接ニ係ル所ノ費用デアリマス、遞信省ノ部ガ一ツアリマスガ、是ハ市區改正ノ結果、電信電話ヲ仕直サナケレバナラヌト云フ費用デアリマス、即チ是ハ市區改正ノ餘波トデモ申シマセウカ、文部省ニ於キマシテハ白蟻豫防調査費、是ガ衆議院ニ於テ削除ニナッテ居リマス、衆議院ノ削減ニ付イテ其理由ヲ問ヒマシタラバ衆議院ノ削減理由ハ追加豫算トシテ出シタノハ不都合デアル、又斯ノ如キ調査ハ名和氏ナドニ任カシテ置イテ、ソレデ足リルコトデアル、縦シヤソレデ足ラヌトナッタナラバ來年デ宜シイ、一年クラキ延バシテモ不都合ハ無い、斯ノ如キ理由ノ下ニ削減サレタト云フコトデアリマス、又此案ノ提出ノ理由ヲ聞キマスルト、此害ハ近年益々甚シクナッテ、南方バカリデナク、樺太マデ此蟲ガ居ルヤウデアル、而シテ此蟲ハ舊來日本ニアッタ所ノ、九州地方ナドニアッタ所ノモノト同一ナルヤ、或ハ新ニ他ノ種類ノモノガ這入ッタノヤ其所ハ分リマセヌガ、何カ知ラスガ澤山ノ種類ガアル、其害ト云フモノハ神社佛閣兵營等ハ申スマデモナク總テノ建築物、若クハ山林ニマデ及ブ、斯ノ如キコトデアリマス、然ルガ故ニ此調査ハ種々ノ方面カラシナケレバナラヌ、動物學者モ入用、山林學者、建築學者、理學者、斯ノ如キ者ヲ寄セテ種々ノ方面カラ調査スル必要ガアルト云フコトヲ懇々説明サレマシタ、一議員ハ政府ニ向ッテ復活ヲ求ムルヤ否ヤト云フ問ヒヲ發セラレマシタガ、トコロガ懇々説明サレタニモ拘ラズ今年ハ別ニ復活ヲ求メヌト云フ、極メテ淡泊ノ答ヘデアリマシタ、委員ノ一人ハ是マデノ説明ヲ聞クト此害ハ隨分大イナルモノ、ヤウデアアル、研究モ未ダ審ナラズ、學者ノ論モ未ダ至ッテ居ラヌ、調査ノ必要ガアルニ依ッテ是ハ復活スベシト云フ復活ヲ發議サレマシタ、之ニ賛成モアリマシタガ、又復活反對者モアリマシタ、其反對ノ理由ハ左程心配ハ

無イ、文部當局者ノ言フ程ノコトデモナイヤウニ思フ、昔カラアルモノダ、別ニ心配スルニハ及バスト云フ極メテ樂天的ノ反對デアリマシタ、併ナガラ少數ニ依ッテ此復活論ハ消滅イタシマシタ、消滅イタシマシタニ依ッテ、原案通り委員會ハ決シマシタガ、此際又一場ノ博士攻撃ガ始マリマシタ、全體大學ノ學者ト云フモノハ何ヲシテ居ルカ、世間ニ向ッテ其調査ヲ一向公ケニシナイ、名和ナンドノ昆蟲ノ研究所ニ行ッテ見ルト、一個人ノ名和デスラガ、誰ガ行ッテモ十分ニ見セテ居ッテ大ニ學問ノ助ケヲシテ呉レルガ、文部省ナドノ學者ハ何ヲシテ居ルカ、一向世間ニ益ヲスルヤウナコトヲシナイ、博士ナドノ多クハ沒交渉ノ人デアアル、今少シ通俗ニ世ノ中ニ向ッテ實用……利テ反省ヲ促サレマシタ、然ル後ニ唯今申ス通り原案ノ可否ヲ採決シマシテ、可決シマシタ

〔田中芳男君「チヨット委員長ニ伺ヒタイコトガアリマスガ、アトガ宜シウゴザイマスカ」ト述フ〕

○議長(公爵徳川家達君) アトノ方ガ宜シカラウト思ヒマス、唯今ハ豫算委員長ノ報告中デアリマスカラ、御質問ハアトニ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 ソレカラ特第二號、此一部ハ前案ト甚ダ關聯シタ所モアリマスガ、他ノ一部ハ關聯シテ居リマセヌ、關聯シタト申シマスノハ、大藏省ノ百七十三萬圓、是ガ關聯シテ居リマス、ソレカラ關聯シテ居ラヌノハ關東都督府ニ係ル火災ノ復舊費、大連ノ檢疫所ダサウデゴザイマス、ソレト文部ニ於キマシテ學士院ノ分ガアリマス、是ハ帝室ヨリ下賜ノ學術獎勵金ガアリマスガ、ソレヲ茲ニ歳入トシ、又歳出トシテアルノデゴザイマス、是モ原案通り全部可決イタシマシタ、其次ハ追第一號ノ豫算外國庫云々ト云フノデアリマス、是ハ内務、文部ニ係ッテ居リマスガ、別ニ説明スル程ノコトハゴザイマセヌ、原案通り可決イタシマシタ、以上五案トモ原案通り可決イタシマシタ、右御報告イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 田中君ノ御質問ハドノ豫算デスカ

○田中芳男君 第三號、先刻ノ白蟻……

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第六デスカ……田中君ニ伺ヒマスガ、田中君ノ御質問ハ議事日程ノ第六ノ豫算デアリマスカ

○田中芳男君 左様デゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○田中芳男君 チヨット委員長ニ伺ヒマスガ、先刻白蟻ニ付イテノ研究調査費ヲ削ッタニ付イテハ、名和昆蟲研究所ニ任カシテ置ケバ宜イトカ云フヤウニ承リマシタガ、一個人ノ私立所ニ御任カセニナッテ居ッテ見タ所ガ、彼レハ官吏デハナシ、財源ガアルデハナイ、政府カラ何ゾ御手當ニデモナッテ御任セニナルト云フ風ノコトデアリマスカ、チヨット伺ヒマス

○子爵曾我祐準君 御答へ申上ゲマス、田中サンハ能ク御聽取リガゴザイマセヌカッタト見エマス、之ヲ我々委員ハ政府委員、若クハ大臣ニ向ッテ衆議院ハ何故ニ之ヲ削減シマシタカト云フ問ヒニ答ヘタ其一箇條、衆議院ガ斯ウ云フ理由ノ下ニ否決サレタト云フ理由ノ一ツデアリマス……宜シウゴザイマス、ソレ以上ノ説明ハドウモ甚ダ私ニ於テ困リマス

○伯爵大木遠吉君 私モ委員長ニ御尋ネ致シタイデアリマス、日程ノ第六、此白蟻ノ調査費、此事ハ……此調査ト云フコトハ、ドウ云フ方法デナサラウト云フ御考ヘカラ豫算ヲ御請求ニナリマシタノデアリマス、其御尋ネガアリマシテ御答辯ガアッタコトナラバ伺ヒタイノデアリマス、其方法デス

○子爵曾我祐準君 今ノ御問ヒニ對シテ委細調査ノ次第ハ委シク委員會デハ承リ切リマセヌノデアリマシタ、ソレデ唯今申ス通り、神社、佛閣總テノ建物、山林ニマデモ害ヲ及ボスヤウニ政府ハ認メテ居ルノデアリマス、サウシテ是ハ暖國ニハ限リマセヌカト云フ問ヒニ對シテ、暖國バカリニハ限ラヌ、今日ハ樺太デモ之ヲ認メテ居ル、種類ハ澤山アルカラ各方面ヨリ研究スベキモノデアアル、斯様ニ認メテ提出シタト云フ理由デアリマス、ソレ以上ハ是モ政府委員ヨリ……私ノハ何レモ受賣ニナリマスカラ、ソレ以上ハ申上ゲラレマセヌ

○伯爵大木遠吉君 尙ホ委員長ニ御願ヒシマス、モウ少シ我慢ヲナスッテ……私ノ伺フノハ調査ノ方法デゴザイマス、其必要ニ感セラレタト云フ御趣意ハ明瞭イタシマシタガ、其調査ヲナサル方法ハ、文部省ガ之ヲ統一的主宰ニナリマシテ、各方面ニ向ッテ種々……名和昆蟲取調所ニモ囑託スルトカ色々ノ方法ガアリマセウガ、之ヲ統一スルコトヲ文部省ニ於テ經營サル、故ニ、此經費ヲ御要求ニナッタヤウナ次第デアリマス、ソコヲ承リタイノデアリマス

○子爵曾我祐準君 ソレハ唯今申ス通り、委シク聞キマセヌ……マダ辛抱シ

マスカ

○伯爵大木遠吉君 イヤ、モウ少シ……大分御辛抱デ甚ダ御察シ申シマスガ……本員ハ此衆議院ニ於テ此費用ヲ削ラレタト云フコトノ趣意ガ私ハ分ラヌ、是モ委員長ノ御説明ヲ願ハナクテハナラヌ、此削ツタ趣意ガ分ラナイ、今田中君ガ言ハレル通り、名和昆蟲所ニ頼シダラ、宜カラウト云フヤウナ無責任ノコトヲ言ッテ見タ所ガ取締ハ付カナイ、而シテ此事タルヤ偶、文部省所管デ、恰モ是ハ本員ノ邪推デアアルカ知レマセヌガ、糞ニ懲リテ膾ヲ吹ク嫌ヒガアルカラ、斯様ノ事ヲ致シタノデハナイカト思フ、此白蟻ノ調査ト云フコトハ一年グラキ後デモ宜イト云フヤウナコトヲ言ウテ見タトコロガ……

○子爵曾我祐準君 大木サン、マダ私ハ此所ニ居ラナクチャナリマセヌカ  
〔伯爵大木遠吉君「ア、サウカ、モウ少シ……」ト述フ〕

モウ宜シウゴザイマスカ  
〔伯爵大木遠吉君「マダ……」ト述フ〕

ソレデハ、ドウゾ滑稽のニナラヌヤウニ、神聖ニ願ヒマス  
○伯爵大木遠吉君 滑稽デハアリマセヌ……ソレデハ要領ダケ伺ヒマス  
〔子爵曾我祐準君「勿論其通り私ハ此所ニ居リマス、アナタハ御聞キニナル……」ト述フ〕

○議長(公爵徳川家達君) 唯今大木伯爵ノ發言中デアリマス  
○伯爵大木遠吉君 委員會ニ於キマシテハ此衆議院ノ削除ニ政府ガ同意サレタ理由ヲ御尋ネナスツタカ、ドウ云フ意味デ政府ガ御同意ニナツタカト云フコトヲ御聽取リニナリマシタカ、ソレヲ伺ヒタイ

○子爵曾我祐準君 ドウ云フ……理由デスカ、否決サレタ、本案ハ……原案ハ否決ニナツテ居リマス、御承知デスカ  
〔伯爵大木遠吉君「宜シイ」ト述フ〕

復活ヲ求メヌト云フノデゴザイマス、其復活ヲ求メヌ、ソレデ白紙ニナツテ居ル  
〔伯爵大木遠吉君「復活……」ト述フ〕

○議長(公爵徳川家達君) 大木伯爵ニ申シマス、唯今ハ豫算委員長ガ答辯中デアリマス、御發言ニナルトキニハ「議長」ト御呼ビテ願ヒマス  
○子爵曾我祐準君 モウ宜ウゴザイマスネ  
〔伯爵大木遠吉君「モウ宜シイ……ソレチャア宜シイ」ト述フ〕

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ於テ御異議ガ無ケレバ唯今豫算委員長ノ報告セラレマシタ議事日程第四ヨリ第八マデ束ネテ問題ト致シ……全部ヲ問題ト致シ、採決ヲ致シマス、全部、豫算委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス  
○議長(公爵徳川家達君) 午後四時ニ相成リマシタガ、會期モ切迫イタシテ居リマスカラ、議事ヲ繼續イタシテ御異存ゴザイマセヌカ  
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス  
○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第九、租税外諸收入金整理ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、第十、關稅法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、第十一、賣藥稅法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、第十二、砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告  
租税外諸收入金整理ニ關スル法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
明治四十四年三月十九日  
右特別委員長 伯爵 廣澤 金次郎

關稅法中改正法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也  
明治四十四年三月十九日  
右特別委員長 伯爵 廣澤 金次郎

賣藥稅法中改正法律案  
貴族院議長公爵徳川家達殿  
右特別委員長 伯爵 廣澤 金次郎

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月十九日

右特別委員長

伯爵 廣澤 金次郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月十九日

右特別委員長

伯爵 廣澤 金次郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵廣澤金次郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵廣澤金次郎君 唯今議題ニ上ボリマシタ議事日程第九ヨリ第十二マデノ四案ノ委員會ノ結果ヲ……會期切迫ノ際デアリマスカラ成ルベク簡單ニ御報告申上ゲマス、此四案ノ委員會ハ昨日開キマシテ、政府委員ノ説明モアリ又委員ヨリ種々ノ質問モアリマシタ結果、四案トモ或ルモノハ衆議院ノ修正ガアリマスガ、無イモノハ政府案ノ通り即チ衆議院ヨリ送付イタシマシタ通り、原案ヲ可決イタシマシタ次第デアリマス、成ルベク簡單ニ申上ゲマスガ、先ヅ第一ノ案、租稅外諸收入金整理ニ關スル法律案ノ委員會ノ審査ノ要領ダケヲ申上ゲマス、此案ニアリマスル貸付金即チ定期貸及据置貸ト云フモノ、之ヲ整理ニナリマスノデアリマスガ、是ハ明治ノ初年ヨリ雜種貸及据置貸ト云フ二種類ノ貸付ガアリマシテ、其名前及金額等ニ於テモ種々雜多ニナツテ居ルノデアリマス、而シテ是ガイツマデモ政府ノ權利デハアリマスガ、反古ノ如キ證書ノヤウナモノガ大部分、此貸付金ノ中ニ含ンデ居リマスカラ、本案ヲ以テ之ヲ整理シヤウト云フ案デアリマス、而シテ此貸付金ノ重ナルモノハ租稅外諸收入金デアリマシテ、納人ノ無資力ノ者ハ納入ガ出來ナイ爲ニ已ムヲ得ズ之ガ政府ノ貸付金トナルノデアリマスカラ、之ヲ從來ノ如ク一種ノ定期貸トシ、又或ルモノハ之ヲ据置貸ニスルノガ本案ノ精神デアリマス、而シテ此附則ニ一箇條ヲ設ケマシテ、即チ附則ニ依リマシテ從來アリマス雜種貸及据置貸ニモ本法ヲ遡テ之ヲ準用スルト云フコトニナリマスノデアリマス、

而シテ此種類ノ貸付金ノ金額ハ如何ホドニナツテ居ルカト云フコトハ參考書デ分リマスガ、約三百九十九万ホドニナルノデアリマス、而シテ一箇年ニ之ニ對シマシテ政府ニ這入リマス即チ貸付金ニ對シマス收入金ノ二十箇年ノ平均ヲ取リマス、定期貸ノ性質ノモノデ政府ノ收入ニナリマスモノガ年七千三百五十一圓、据置貸ノ性質ノ貸付金ニ對シマス平均ノ收入金ガ千五百三十三圓ニナルノデアリマス、是等ノ貸付金ハ種々雜多ニナツテ居リマスカラ、之ヲ本案ヲ以テ整理シヤウト云フ案デアリマス、委員會ニ於キマシテハ前申シタ通り全會一致ヲ以テ可決シタノデアリマス、次ハ議事日程ノ第十二アリマス關稅法中改正法律案ノ委員會ノ審査ノ……是亦要領ヲ申上ゲマス、本案ノ改正ノ理由ト申シマスルノハ、昨年ノ本議場ヲ通過イタシマシテ既ニ公布ニナツテ居リマス關稅定率法ノ改正、而シテ是ハ本年ノ七月ヨリ實施ニナリマス定率法ノ實施ニ伴ヒマス必要ガアリマスノガ一ノ理由デアリマシテ、其他ニ……抑、此關稅法ト云フモノハ明治三十二年ノ制定デアリマシテ、今日マデ是ガ施行ノ結果及今日マデ我ガ貿易ノ膨脹ノ結果ト致シマシテ、種々此舊法中ニハ改正ヲ加フベキ點ガ多クアリマスノデ、故ニ本案ヲ提出サレタト云フコトデアリマス、而シテ此改正案ヲ以テ新シキ規定ヲ設ケラレタル點ノ要領ヲ申シマスレバ、本案ガ通過イタシマス外外國貨物ノ陸路運送ヲ許スト云フコトノ新シキ條條ガ出來ルノデアリマス、是等ハ今日ノ西伯利亞鐵道、南滿鐵道及敦賀方面ノ連絡ガ大分成效イタシマスニ依ツテ單ニ海路ノミナラズ陸路ヨリモ外國貨物ノ輸入ヲ許スト云フコトニナリマスレバ、旅客ハ勿論、又其他輸出入業者ニ非常ノ便宜ヲ與ヘルコトニナリマス、本案ノ三十九條ヨリ四十一條ニ至ルマデノ改正ガ將來外國貨物ノ陸路運送ヲ許スト云フコトニナルノデアリマス、其他新シキ點ヲ申上ゲマスレバ、是マデハアリマセヌガ、新シク保稅地域ト云フ名稱ノ地域ガ出來マシテ、其地域ハ如何ナルモノカト申シマスレバ、即チ稅關ヲ通過イタシマセナイ外國貨物ヲ藏置シ得ル場所ヲ明カニ保稅地域トシテ新シク認メタノデアリマス、其他ハ從來種々ナ密輸入ガアリマシタガ、是等ノ密輸入ヲ防グ爲ニ、例ヘバ八十二條ノ二トカ或ハ八十三條トカ云フ所ノ密輸入ヲ成ルベク防グト云フ改正ガアルノデアリマス、改正ニ對シマス大體ノ要點ヲ申上ゲマスレバ斯ノ如キモノデアリマシテ、政府モ衆議院ノ修正案ニ全然同意ヲ致シテ居ルノデアリマス、委員會ニ於キマシテモ原案通り全會一致ヲ以テ可決イタシタノデアリマス、其次ハ日程ノ第

十一ノ賣藥稅法中改正法律案ノ委員會ノ審査ノ結果ヲ申上ゲマスガ、是ハ從來、此賣藥營業稅ノ納稅者ニハ納稅イタシマシテモ之ニ權利ヲ與ヘテナカッタノデアリマス、即チ衆議院議員選舉ノ如キ、或ハ被選舉權若クハ選舉權ニモ直接國稅ト認メテアリマセヌカラ、是ハ資格ガ無カッタノデアリマス、本案ノ改正ノ點ハ賣藥營業稅ヲ納メル者モ直接國稅ト認メマシテ而シテ之ニ相當ノ納稅ニ對シマス權利ヲ與ヘルト云フ案デアリマス、而シテ此附加稅ノ點ニ於テチヨット申シマスガ、現行法ニ據リマスト直接國稅ニ對シマス附加稅ハ百分ノ五マデ課スルコトガ出來ルノデアリマスガ、而シテ政府案デアリマス、政府原案ハ、北海道及府縣ハ「本稅百分ノ五」トアリマシテ、而シテ片ツ方ノ方ハ「百分ノ十」トナツテ居リマシタノヲ、衆議院ニ於テ「百分ノ三」及「百分ノ五」ト修正シタノデアリマスガ、此政府原案ノ理由ハ賣藥稅納稅者ニ權利ヲ與ヘ資格ヲ得セシムルニハ相當ノ附加稅ヲ課スルノハ尤モデアリマス、ケレドモ附加稅ノ爲ニ却ツテ賣藥營業者ガ迷惑ヲスルト云フコトハ政府ノ望ム所デナイ故ニ此附加稅ノ率ヲ此所ニ制限シタノデアアル、而シテ衆議院ニ於キマシテハ政府ノ附加稅ノ率デモ、マダ賣藥營業者ガ之ガ爲ニ却ツテ經濟上迷惑ヲ來タスカモ知レヌト云フ憂ヒガアルト云フノデ、衆議院ニ於キマシテハ幾分力此率ヲ下ゲタノデアリマス、而シテ此修正ニハ全然政府モ同意イタシテ居リマス次第デアリマシテ、委員會ニ於キマシテモ衆議院ノ修正ヲ認メマシテ全會一致ヲ以テ衆議院ノ修正通り可決シタノデアリマス、其次ニ日程ノ第十二ニアリマス砂糖消費稅織物消費稅等ノ徵收ニ關スル法律案ノ委員會ノ審査ノ要領ヲ申上ゲマス、本案ハ唯今問題ニナリマシタ關稅法中改正法律案ノ改正ノ結果ト申シテ宜シイノデアリマス、即チ此砂糖消費稅法、織物消費稅法、石油消費稅法等ノ中ニ此保稅地域……關稅法中デ今度新シク認メル保稅地域ト云フモノヲ此三消費稅法中ニ適用スルニ止マルノデアリマス、ソレトモウ一ツハ第二條ニ於キマシテ是モ先キホド申上ゲマシタ關稅法中改正法律案中ニ認メマシタ陸路運送ト云フコトヲ同ク認メマシタノデアリマス、第三條ハ是マデモ此通りニナツテ居ルノデアリマスガ、此規則ヲ改正スルニハ好イ時機デアルト云フコトデアリマシタ、關稅ヲ徵收スル場合ニハ消費稅ヲモ徵收スルト云フコトヲ明カニ法文ニシテ置ク必要ガアルト云フノデ、茲ニ第三條ノ改正ガ出タノデアリマス、本案モ前ノ三案ト同様委員會ニ於キマシテハ質問ハアリマシタケレドモ、別ニ異議ガアリマセズ、全會一致

ヲ以テ同ク可決シタ次第デアリマス、此段御報告申上ゲマス  
 ○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發言モ無イト認メマスカラ、採決ヲ致シマスガ、各案別々ニ問題ニ供シマス、唯今問題ニ供シマスノハ、議事日程第九ノ法律案、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○伯爵廣澤金次郎君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵本莊壽巨君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、全部、特別委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○伯爵廣澤金次郎君 直チニ引續イテ三讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス

○子爵本莊壽巨君 贊成

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ議事日程第十ノ法律案

○伯爵廣澤金次郎君 若シ時機ヲ失シテ居リマセヌケレバ、第十ノ案ハ大分

數箇條アリマスルガ、別ニ異議モ無イヤウデアリマスカラ、讀會ヲ省略シテ

直チニ確定セラレムコトヲ希望シマス

○子爵牧野忠篤君 贊成

○伯爵大木遠吉君 贊成

○男爵北島齊孝君 讀會省略贊成

○子爵本莊壽巨君 讀會省略贊成

○男爵沖守固君 贊成

○男爵田健治郎君 贊成

○田島竹之助君 贊成

○伊澤修二君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 廣澤伯爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案、特別委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 次ハ議事日程第十一

○伯爵廣澤金次郎君 本案モ別ニ御異議ガ無イヤウデアリマスカラ同ク讀會省略ヲ以テ直チニ確定セラレムコトヲ希望シマス

○男爵北島齊孝君 贊成

○子爵本莊壽巨君 贊成

○子爵牧野忠篤君 贊成

○田中芳男君 贊成

○小野田元瀨君 贊成

○伊澤修二君 贊成

○伯爵萬里小路通房君 贊成

○男爵諫早家崇君 贊成

○伯爵大木遠吉君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案、特別委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 次ハ議事日程第十二

○伯爵廣澤金次郎君 本案モ同様、讀會ヲ省略サレテ直チニ確定セラレムコトヲ希望シマス

○子爵本莊壽巨君 讀會省略贊成

○子爵牧野忠篤君 贊成

○子爵稻垣太祥君 贊成

○淺田德則君 贊成

○男爵佐野延勝君 贊成

○子爵大田原一清君 贊成

○男爵田健治郎君 贊成

○伊澤修二君 贊成

○男爵武井守正君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案モ特別委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十三、司法事務共助法案、政府提出、衆議院送付、第十四、執達吏手數料規則中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

司法事務共助法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月十八日

右特別委員長

男爵 岡内 重俊

貴族院議長公爵徳川家達殿

執達吏手數料規則中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月十八日

右特別委員長

男爵 岡内 重俊

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔男爵岡内重俊君演壇ニ登ル〕

○男爵岡内重俊君 唯今議題ニ上ボリマシタ司法事務共助法案、執達吏手數料規則中改正法律案、此二案ヲ一括シテ報告ヲ致シマス、委員會ニ於キマシテ成規ノ手續ヲ經テ、引續キ委員會ヲ開キマシテ、當局政府委員ノ説明、又委員ヨリノ質問、之ニ對スル答辯、ソレト審議ヲ盡シマシテ、全會一致ヲ以テ之ヲ可決イタシマシタ、兩案トモ可決イタシマシタ、其可決ヲ致シタ理由ヲ極メテ簡單ニ報告ヲ致シマス、司法事務共助法案ノ必要ハ韓國併合其他ノ事情ニ依ッテ其手續ヲ統一、且ツ整理スル必要ガアッテ此法案ガ提出ニナッタサウデゴザイマス、司法事務共助……「共助」ト云フ字ハ餘リ用キヌ字デアリマスガ、裁判所構成法ノ中ニ既ニ此「共助」ト云フ字ハ現ハレテ居リマスデ、別ニ怪シムコトモゴザイマセヌ、大體ノ理由ハ内地、其外樺太、臺灣、其他外國ノ領事廳ヲ設ケテアル所ニ對シテ謂ハユル共助、詰リ事務ヲ委託スルト云フコトニ外ナラヌ次第デアリマス、其事務ノ簡條ヲチヨット擧ゲマスレバ、訴訟書類ノ送達、證據調、令狀ノ發付及執行、犯罪ノ搜查、斯ノ如キコ

トヲ相互間ニ委託イタシテ辨ズル次第アリマスノデ、最モ必要ナリト之ヲ認メマシタ次第アリマス、之ニ對シテ衆議院ハ第三條ニ一項加ヘテアリマスルガ、「前項ノ規定ハ假差押又ハ假處分ノ命令ノ執行ニ之ヲ準用ス」ト云フ此修正ニ付イテ政府ハ同意ヲ表シタサウデゴザイマス、謂ハユル粗ヨリ密ニ入ルト云フ譯デ、之ニ對シテ同意ヲ表シテ居リマス、ソレヨリ執達吏手數料規則中改正法律案、是ハ今ヲ距ル二十年前ニ規定サレテ、現時マデ實行シツ、アル手數料ノ法律デアルサウデゴザイマシテ、現時ノ經濟狀態ハ總テノ事情ニ付イテ何ホドカ増加スルト云フノ必要ヲ認メテ此法案ヲ提出ニナッタ次第デアリマス、其増加ノ標準ヲ前ニ官吏ノ増俸ナドモアリマシタ故ニ、ソレ等ヲ參酌シテ先ヅ三割ト金額ノ標準ヲ定メテ提出シマシタ所デ、之ニ對シテ衆議院ニ於テ先ヅ二割デ宜カラウト云フコトデ一割ヲ減ゼラレタサウデゴザイマス、之ニ對シテ政府ニ於テモ固ヨリ三割デナケレバナラヌト云フ譯デモアリマセヌ故ニ、之ニ對シテ又同意ヲ表シテ居リマスル次第デアリマス、右ノ次第デアリマシテ、兩案トモ別ニ委員會ニ於テハ修正ノ議論モ出マセズ、原案通り之ヲ可決イタシタ次第デアリマス、此段ヲ報告イタシマス、願ハクハ讀會ヲ省略セラレテ速ニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○男爵野田豁通君 讀會省略ニ贊成

○田中芳男君 贊成

○子爵堤功長君 贊成

○古莊嘉門君 贊成

○男爵佐野延勝君 贊成

○子爵板倉勝達君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 岡内男爵ニ確メマスガ兩案トモ讀會省略デスカ

○男爵岡内重俊君 左様デス、兩案トモデス

○男爵茨木惟昭君 贊成

○子爵稻垣太祥君 贊成

○伊澤修二君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 兩案トモ讀會ヲ省略スルト云フ岡内男爵ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス、御異議ガゴザイマセネ  
バ兩案東ネテ採決ヲ致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 兩案、特別委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセ  
ヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十五、明治三十九年法律第三十一號中  
改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

明治三十九年法律第三十一號中改正法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月十八日

右特別委員長

伯爵 吉井 幸藏

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル〕

○伯爵吉井幸藏君 明治三十九年法律第三十一號中ノ改正法律案デゴザイマ  
ス、此法律第三十一號ハ従前ノ明治三十九年ノ六十三號デゴザイマシテ、此  
法律ニ據リマシテ、臺灣ニ於テ法律ヲ要スル事項ハ、臺灣總督ノ命令ヲ以テ  
之ヲ規定スルト云フコトヲ臺灣總督ニ委任サレタノデアリマシテ、是ハ御承  
知ノ通り臺灣ニ於キマシテハ總テノコトガ異ッテ居リマスノデ、内地ト同様  
ノ法律デ支配スルコトガ出来ナイ爲ニ此委任ニナッテ居ル次第デアリマス  
ガ、此法律ニ三十九年ニ制限ヲ附ケラレマシテ、本年ノ十二月三十一日マデ  
其效力ヲ有スルコトニナッテ居リマスノヲ、今日ニ於キマシテモ臺灣ニ於  
キマシテハ、住民ノ状態ハ餘リ五年前ト著シク變化ヲ致シテ居ラナイノデア  
リマス、唯經濟状態ニ於キマシテハ非常ナ發展ヲ致シマシタガ、此住民ノ状  
態ニ付キマシテハ著シイ發達ヲセズニ居リマシテ、五年前ト格別異ラヌ有様  
デアリノデアリマスカラ、尙ホ此立法委任權ヲ總督ニ任スト云フコトニ、  
此法律ノ效力ヲ明治四十九年十二月三十一日マデ延バス、效力ヲ有スルモノ

ト改正シタイト云フ案デアリマス、是ハ度々本院ニ是マデ出マシテ、皆サン  
ハ斯ウ云フコトニナッテ居リマス事情ハ御承知デゴザイマスルカラ、モウ委  
シイコトハ申上ゲマセヌガ、委員會ニ於キマシテハ尙ホ今日ノ情況ニ付キマ  
シテ種々ノ質問モゴザイマシテ、此改正ハ必要ナリト認メマシテゴザイマス  
ルガ、尙ホ其中ニ或ル委員カラハ必要ナリト認ムルケレドモ、成ルベク法律  
ノ濫發ヲシナイヤウニト云フ注意ナドモゴザイマシタガ、別ニ反對ノ意見ハ  
ゴザイマセヌ、全會一致ヲ以テマシテ可決スベキモノナリト決議イタシマシ  
テゴザイマスルカラ、ドウカ是ハ能ク分ッテ皆サンガ御承知ノ案デゴザイ  
マスルカラ、本院ニ於キマシテモドウゾ讀會ヲ省略シテ速ニ御決議アラムコ  
トラ希望イタシマス

○田中芳男君 讀會省略ニ賛成

○男爵關義臣君、賛成

○子爵前田利定君 賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

○伯爵寺島誠一郎君 賛成

○伯爵柳澤保惠君 賛成

○淺田徳則君 賛成

○谷森眞男君 賛成

○伊澤修二君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 吉井伯爵ノ動議ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案特別委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌ

カ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十六、軍人恩給法中改正法律案、政府  
提出、衆議院送付、第十七、明治三十三年法律第七十六號中改正法律案、政

府提出、衆議院送付、第十八、明治三十三年法律第七十五號同三十五年法律第二十九號準用ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

軍人恩給法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月十九日

右特別委員長

男爵 小澤 武雄

貴族院議長公爵徳川家達殿

明治三十三年法律第七十六號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月十九日

右特別委員長

男爵 小澤 武雄

貴族院議長公爵徳川家達殿

明治三十三年法律第七十五號同三十五年法律第二十九號準用ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月十九日

右特別委員長

男爵 小澤 武雄

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔男爵小澤武雄君演壇ニ登ル〕

○男爵小澤武雄君 唯今議題ニ上ホリマシタ軍人恩給法中改正法律案外二件ノ委員會ノ經過結果ヲ御報告イタシマス、此委員會ハ昨日日曜ニモ拘ラズ會期切迫ノ折柄デゴザイマシタカラ、委員會ガ開カレテ慎重ノ審査ヲ遂ゲマシタ次第デゴザイマス、デ此改正案ノ大體ニ付イテ申上ゲマスルガ、政府ノ原案ハ恩給ノ金額ノ増加額ガ將校ハ二割五分、下士ハ一割五分、卒ハ一割ノ増加ニナッテ居リマス、ソレヲ衆議院ノ修正ハ退職恩給、免除恩給ノ増加ヲ現

行金額ノ總テ二割増ニ改メテアルノデゴザイマス、其政府ノ原案ノ所デ申シマスルト、下士以下ノ所ガ増加ガ少イヤウニ見エマスルケレドモ、ソレハ先年ノ恩給ノ改正ノ時分ニ、下士卒ハ約五割増ニナッテ居ル、ソレデ今度ノヲ合シマスルト六割餘ト云フコトニナリマスルカラ、政府ノ最初ノ考ヘデハ是デ不當ナコトハナイト云フコトデアッタサウデス、然ルニ衆議院ニ於テハ將校下士卒ヲ通ジテ二割増ト云フコトニ修正ラシタノデ、是ハ政府ニ於テモ異議ハ無イト申スコトデ、總テ此衆議院ノ修正ニ對シテハ、一昨日デゴザイマシタカ、此議場ニ於テ陸軍大臣ヨリ政府ハ衆議院ノ修正ニ同意ラスルト云フ言明ニナッテ居ル次第デ、此衆議院ノ修正ヲ申上ゲマスル前ニ於テ一應此政府ノ改正案ヲ提出シタ理由ヲ申上ゲテ置キマスガ、是ハ丁度此法案ノ終ヒニ附イテ居リマスル理由書ニ詳ニゴザイマスル通り、文官ノ方ノ俸給ガ昨年増加ニナッタニ付イテ、ソレニ伴ッテ此増加スル必要ガアル、其他種々改正ヲ要スル必要ガアルカラ之ヲ提出スルト云フコトガ理由書ニアリマスルカラ、之ヲ別ニ改メテ申上ゲル必要ハゴザイマスマイガ、唯茲ニ申上ゲテ置キタイノハ衆議院ノ修正ノ重モナル點デ、十六條中ト竝ニ四號表ノ修正ハ扶助料及増加恩給ニ關スル修正ノ結果ト給助金ヲ服役年限ニ應ジ區別ヲ設ケルノ煩ヒヲ避ケル爲ニ、右ノ修正ヲナシテ更ニ給助金ノ額ヲ増加スルニ止ムルコト、ナシタルモノデアアルサウデゴザイマス、附則ニ於テ此改正案ヲ明治四十三年四月一日マデ溯ルト云フ規定ヲ衆議院ニ於テ削除イタシタノハ、四月一日以後改正法施行マデノ間ニ現役ヲ離レ又ハ現役中死歿シタル者ニ及ボシ其以前ニ及ボサルハ公平ヲ闕クト云フ理由ヲ以テ之ヲ削除シタモノデアアルト云フ理由デ、從前ノ規定ニ依ルト、現ニ退職恩給、免除恩給ヲ受クル者ト雖モ其遺族ニ支給スル扶助料ハ改正ノ規定ニ依ルコト、シ、即チ三十七年二月六日以前ニ傷病者ノ増加恩給ヲ増加シテ現行増加恩給ノ十分ノ八トナシ、且ツ右ノ中ニ二肢以上ヲ失ヒタル者ニ對シテハ現行規定ニ準ジ更ニ其金額ヲ増加シ、尙ホ明治七年、九年、十年ノ役等ニ從事シテ傷病ノ爲ニ恩給扶助料ヲ受クル者ニモ此恩典ヲ受クルコトニ相成リマシタ次第デ、即チ此修正ノ附則ノ五項、六項、七項ニ唯今ノ意味ヲ現ハシタノデゴザイマス、大體是ダケノ修正デゴザイマスルガ、委員會ニ於テハ種々質問モゴザイマシタガ、此趣意ニ於テハ唯今本員カラ陳述イタシマシタノハ即チ極ク其大體ヲ申上ゲタノデゴザイマス、即チ政府委員ノ説明ニ屬スルモノデゴザイマス、ソコデ委員ノ中ニ

質問モ色々ゴザイマシタガ、之ヲ一括シテ申シマスルト、軍人ノ恩給ト云フモノハ文官ノ恩給ト性質ヲ異ニスルモノデハナイカ、ソレハ軍人ト云フモノハ豫備後備ニアツテモ毎年相當ナ復習ナドヲセネバナラヌ、ソレニ伴ウテ被服其他ノ器具ノ必要モアルカラ、恩給ノ割合デモ長クナクテハナラヌデハナイカ、又此法案ノ通りデハ、ドウモ恩給ノ額ガ稍、少イヤウニ思フガ、豫備後備ノ將校等ニ於テ何等カノ不平ガ起ルト云フ懸念ハナイカ、斯ウ云フ事ガ質問ノ要點デアリマス、政府委員ハ之ニ答ヘテ、軍人ノ恩給ノ額ヲ増スト云フコトハ、是ハ惡ルイコト、ハ決シテ思ハナイ、併ナガラ之ヲ増セバ非常ナ金額ニナツテ、今日ノ所デハ國家ノ負擔ニ堪ヘナイカラ、今日ノトコロ此法案通りニシテ置クヨリ外ハ致シ方ガナカラウ、又此恩給ガ少イ爲ニ不平ナドヲ漏ラス者ハ無イカト云フコトニ付イテハ、大概アルマイト思フ、併シソレハ幾分カハ何事ニ於テモ悉クノ人ガ満足スルコト、云フモノハ出來ルコトデハ無イカラ、少シハアルカモ知レナイケレドモ、前ノ理由ニ依ッテ何トモ此上ニ今日ノ所デハ致シ方ガナイカラト云フ答辯ノ要領デアリマス、ソレデ其外ニハ直接此法案ニ付イテ異ツタ質問ハゴザイマセヌカラ、之ヲ採決ヲスルニ臨ミマシテ、委員ノ中カラ希望ガゴザイマシタ、本案ハ稍、不完全ノ嫌ヒアリト雖モ今ハ之ヲ忍ビテ賛成セム、サリナガラ將來適當ノ時機ニ於テ完全ナル改正アラムコトヲ希望スルト云フ如キ意味ノ希望ガゴザイマシテ、是ニハ數人ノ賛成ガゴザイマシタ、且ツ此發言者ガ言ハレマスルノニ、ドウゾ是ハ此特別委員會ノ決議ヲ以テ此希望ヲ報告ヲシタイト云フコトデゴザイマシタガ、或ル委員ハ此恩給ハ……恩給法ハ軍人ト云ハズ、文官ト云ハズ或ル時機ガ來タナレバ根柢ヨリ改正ヲ加ヘル必要ガアルカモ知レナイカラ、唯此軍人ノ……

〔子爵高野宗順君「ドウカ成ルベク簡單ニ願ヒタウゴザイマス」ト述フ〕

恩給ダケニサウ云フ希望ヲ申スコトハ不同意ダ、斯ウ云フコトデアリマス、又或ル人ハ、是ハ皆ナ國家ノ經濟ニ伴ウテ、其許ス範圍ニ於テヤラナクテハナラヌコトデアルカラ、國家ノ財政モ願ミズシテ斯ウ云フ希望ヲ申スト云フコトナラバ同意ガ出來ナイト云フヤウナ説モ出マシタ、茲ニ於テ委員長ハ前キノ希望ノ發言者ニ、ソレデハ此希望ニハ數人ノ同意者ガアルコトデアルカラ、本議場ニ於テ其段ハ報告ヲ致シテ置ク、ソレデ満足ヲセラル、ヤ否ヤト

云フコトヲ尋ネマシタ所ガ、ソレデ異議ハ無イト云フコトデゴザイマシタカラ、即チ前ニ申シタ通りノ希望ガ數人ノ委員カラゴザイマシタト云フコトヲ茲ニ申述ベテ置ク次第デアリマス、サウ致シマシテ採決ヲ致シマシタ結果ハ全會一致ヲ以テ可決サレマシテゴザイマス、ドウゾ此特別委員會ノ決議ノ通りニ速ニ可決アラムコトヲ望ミマス、ソレカラアトノ二案、日程ノ十七ト十八ヲ申上ゲテ置キマスルガ、是ハ殆ド軍人恩給法ノ改正ニ伴ウテ、此必要カラ是ガ提出ニナツタヤウナコトデゴザイマスカラ、何等ノ異議ガゴザイマセズ、衆議院ノ修正通り是モ委員會ハ可決イタシマシタ次第デゴザイマス

○男爵石黒忠惠君 唯今ノ委員長ノ御報告中ニ、ドウ云フ委員ノ御問ヒカ知リマセヌガ、是デ以テ軍人ハ不平ハ無イカト云フ御問ヒガアツタヤウニ伺ヒマシテ、其答ヘニハ、不平ハアルカモ知レヌガ、多クハアルマイト云フヤウナ御答ヘガアツタヤウニ承リマスルガ、本員ナドハ甚ダ遺憾ニ考ヘマスル、困難ハゴザイマスルカ知レマセヌガ、恩給ニ對シテ帝國ノ軍人ニ不平ト云フモノ、アラウ譯ハ無イト存ジマスル、一應當局者カラ御答ヘヲ承ッテ置キタウゴザイマス

〔政府委員男爵石本新六君演壇ニ登ル〕

○政府委員(男爵石本新六君) 唯今ノ石黒男爵ノ御質問ニ對シテ御答ヘヲ致シテ置キマス、或ハ斯ウスルト不平均ガ起ル、是マデノ者ハ恩給ノ受ケ方ガ少クテ、今後ノ者ガ獨リ多クナル、依ッテ多少ノ不平ノ聲ガ起リハセヌカ、斯ウ云フ御質問デゴザイマシタ、私ノ考ヘマスル所デハ、恐ラクサウ云フコトハ無カラウト、斯ウ申シテ御答ヘヲ致シテ置キマシタ次第デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○男爵村上敬次郎君 此三案共ニ讀會ヲ省略セラレテ確定セラレムコトヲ希望イタシマス

○男爵野田豁通君 賛成ヲ致シマス

○男爵小澤武雄君 賛成

○男爵外松孫太郎君 賛成

○男爵茨木惟昭君 賛成

○男爵金子有卿君 賛成

○男爵有地品之允君 賛成

○男爵沖守固君 賛成  
○男爵佐野延勝君 賛成  
○小野田元瀨君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 村上男爵ノ讀會省略ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 三案トモ特別委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程ノ第十九ハ、特別委員長ヨリ延期ノ請求ガアリマシタカラ他日ニ譲リマス、議事日程第二十、印紙稅法中改正法律案衆議院提出、第一讀會、第二十一、煉乳原料砂糖戻稅法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

〔左ノ送付文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

印紙稅法中改正法律案  
右本院提出案及送付候也

明治四十四年三月十八日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

印紙稅法中左ノ通改正ス

第五條中「一營業ニ關セサル受取書」、「一金高五圓未滿若ハ金高記載ナキ送狀、受取書又ハ賣買仕切書」ヲ「一金高五圓未滿若ハ金高記載ナキ又ハ運送契約ニ依ラサル送狀」、「一金高五圓未滿若ハ金高記載ナキ又ハ營業ニ關セサル受取書」、「一金高五圓未滿若ハ金高記載ナキ又ハ非營業者ニ發スル賣買仕切書」ニ改ム

附則

本法ハ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

煉乳原料砂糖戻稅法中改正法律案  
右本院提出案及送付候也

明治四十四年三月十八日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

煉乳原料砂糖戻稅法中左ノ通改正ス

附則第二項ヲ削ル

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 此兩案ハ衆議院ノ提出案デアリマスルガ、政府ニ於テモ成ルベク兩案トモ法律ニナリタイト存ズル次第デアリマシテ、會期ノ切迫シテ居リマス所デアリマスガ、ドウゾ御審議ノ上、兩案トモ御可決ニナルコトヲ希望イタシマス、印紙稅法ノ方ハ今日送狀並ニ賣買仕切書ト云フモノ、解釋上、色々疑義ガアリマス爲ニ、餘程適用ノ上ニ於テ官民ノ間ニ種々意見ヲ異ニシテ居ル問題デアリマスガ、此衆議院ノ案ガ成立イタシマスト云フト、斯様ナ紛議ガ少クナルノデアリマスカラ、ドウゾ御賛成ニナリタイト思ヒマス、又煉乳ノ戻稅ノコトモ此儘デ參リマスト云フト、本年七月十六日限リテ無クナルノデアリマスガ、衆議院案ガ通過イタシマスレバ、是モ亦繼續スル次第デアリマスルノデ、共ニ政府デハドウカ法律ニ存シタイト云フ希望ヲ持ッテ居ル次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程ノ第二十、第二十一ハ同一委員デ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官長朗讀〕

印紙稅法中改正法律案外一件特別委員

伯爵大木 遠吉君 子爵久留島 通簡君 子爵黒田 和志君  
田中 芳男君 男爵眞田 幸世君 男爵長松 篤葉君

清瀬 善三君 鎌田 榮吉君 道源 權治君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二十二、貴族院及衆議院速記技手在官年月數ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

貴族院及衆議院速記技手在官年月數ニ關スル法律案  
右本院提出案及送付候也

明治四十四年三月十八日

衆議院議長 長谷場純孝  
貴族院議長公爵德川家達殿

明治三十年勅令第三百四十九號及同年勅令第三百五十號施行前ヨリ貴族院又ハ衆議院ノ速記ニ從事シ同令ニ依リ貴族院速記技手又ハ衆議院速記技手ニ任用セラレ本法施行ノ際迄勤續スル者ハ其ノ任用前ノ勤務年月數ヲ官吏恩給法及官吏遺族扶助料法ノ在官年月數ニ算入ス

○議長(公爵德川家達君) 本案特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官長朗讀〕

貴族院及衆議院速記技手在官年月數ニ關スル法律案特別委員

子爵會 我 祐準君 子爵裏松 良光君 子爵梅小路 定行君

子爵入江 爲守君 男爵石黒 忠惠君 男爵中川 興長君

男爵紀 俊 秀君 石井省一郎君 鮫島 武之助君

○子爵三島彌太郎君 此際、議事日程ヲ變更セラレマシテ工場法案ヲ議題ニ上ボセラレムコトヲ請求イタシマス

○伯爵廣澤金次郎君 賛成イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 三島子爵ノ議事日程變更ノ動議ニ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直チニ工場法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告

工場法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月十六日

右特別委員長

子爵 三島彌太郎

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵三島彌太郎君演壇ニ登ル〕

○子爵三島彌太郎君 唯今議題トナツテ居リマス所ノ工場法案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、此委員會ハ去ル八日ニ第一回ヲ開キマシテ、正副委員長ノ選舉ヲ行ヒ、直チニ會議ニ移リマシタ、農商務大臣モ多ク出席シテ居ラレマシテ説明ヲ致サレマシタ、又委員ハ勿論、委員外ノ議員モ三名マデ参加セラレマシテ、中ニモ最も熱心ナル議員ハ前後數回参加セラレマシテ熱心ニ質問ヲ爲シ、又意見ヲ陳述セラレマシタ

〔副議長侯爵黒田長成君議長席ニ著ク〕

此委員會ハ都合五回開キマシテ、最も鄭重ニ審議ヲ遂ゲマシタル結果、多數ヲ以テ此案ヲ通過イタシマシタ、此委員會ノ委員ノ質問、竝ニ政府ノ答辯ノ詳細ナルコトハ之ヲ速記録ヲ以テ御覽ヲ願フコトニ致シマシテ、今茲ニ最も重ナルモノヲ御報告申上ゲマス、第一ハ此法案ノ大體ノ質問デゴザイマシタ、其一ツハ、政府ハ何故ニ此工場法案ヲ此際提出スルニ至ツタノカト、斯ウ云フノデアリマシタ、之ニ對シテ由來、我國デハ工場主ト職工ノ間ニ主從的關係ノ美風ガ存在シテ居ッタ、併ナガラ近時泰西ノ文物ガ輸入セラル、ニ從ツテ、多少惡習慣、惡傾向ガ見エル、故ニ其甚シカラザルニ先ダツテ之ヲ防ギタイ趣意デアルト斯ウ云フ答辯デアリマシタ、ソレカラ此工場法案ハ誠ニ不完全デハナイカ、斯様ナルモノヲバ發布イタセバ實ニ國ノ恥ト言ツテモ宜シイ、政府ハ何ト考ヘルカ、斯ウ云フ質問ガゴザイマシタ、之ニ對シテ、政府ト雖モ決シテ理想的ニ之ヲ以テ完全無闕ナリトハ認メテ居ラス、サリナガラ今日ノ我國ノ状態ニ照シテ最も適應シタルモノトシテ之ヲ提出シタルデアアル、各國ノ工業行政ノ沿革ヲ視テ見テモ、初メハ極メテ微細ナル點ヲ取締ツテ、次第ニ完備シタルデアアルカラ、我國デモ先ヅ今日ハ之ヲ以テ宜シト認メテ居ル次第デアアル、此取締ツタ點ハ各工場ノ通弊中最モ目立チタルモノヲ選ンデ之ニ向ツテ取締ヲシタルデアアル、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、ソレカラモウツノ質問ハ、此法案ニハ行政命令ニ委任シタル所ノ事項ガ甚ダ多イ、是ハ發令

ノ仕方如何ニ依ッテハ工業ノ發達上大イナル影響ガアルモノデアガ、其發令ヲスル時分ニハ當業者ノ意見等ヲ聞クノデアアルカト云フ質問ガアリマシタ、之ニ對シマシテハ政府ハ尙ホ十分ニ工場ノ調査ヲ爲スコトハ勿論、重モナルモノハ商業會議所及生産調査會等ニ諮問ヲスルコトハ勿論、尙ホ其以上必要ノ場合ニハ職工ノ意見ヲモ徵シテ慎重ニ慎重ヲ加ヘテ發令スルノデアアルカラ、決シテ工業ノ發達ヲ害シ、又將來工業ノ現狀ニ大波動ヲ與フルヤウナコトハ勿論無イト、斯ウ云フコトヲ確言イタサレマシタ、又本法ノ適用ニ付イテノ質問ガアリマシタ、此法律ヲ以テ鑛山業ヲ取締ルノデアアルカ、ドウカト云フ、斯ウ云フ質問デアリマシタ、之ニ對シテ政府ハ鑛山業及附屬ノ工場ハ、是ハ鑛業法ニ支配セラレテ居ルノデアアル、鑛業法第七十九條ニ主務大臣ハ鑛夫ノ年齢、就業時間又業務ノ種類等ヲ定ムルコトガ出來ルヤウニナッテ居ル、サウ云フ答辯デアリマシタ、ソレカラ又此工場法ノ第一條ヲ工場ニモ適用シナイ工場ガアル、是ハ勅令ヲ除外スルコトニナッテ居ルガ如何ナルモノヲ除外スルノデアアルカ、斯ウ云フ質問ガアリマシタ、之ニ對シテ政府ハ、概略ヲ言ヘバ家族的工場ト云フヤウナモノニハ之ヲ適用シナイ、且ツ小賣商ガ自分デ物品ヲ製造シテ賣ッテ居ルヤウナモノニハ之ヲ適用シナイト云フ答辯デアリマシタ、ソレカラ年齢ノ制限ニ付キマシテ質問ガアリマシタ、此工場法ヲ見ルト、十二歳前後ノ者ヲ労働ヲサセルヤウニナッテ居ルノガ是ハ小學校令ノ強制教育ノ精神ニ矛盾シハシナイカ、斯ウ云フ質問デアリマシタ、之ニ對シテ小學校令ノ第三十五條ニ就學兒童ノ就學ヲ妨ゲテハナラヌト云フコトガアル、併シソレヲ雇傭スル者ガ學校ニヤルヤウニスレバ差支ナイコトニナッテ居ルカラ、決シテ矛盾ハシナイ、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、又モウ一ツノ質問ハ此幼年職工ノ労働ヲ禁止タナラバ或ル地方ニ依ッテ父兄ノ經濟上、大ニ困ルヤウナコトガ出來ハシナイカ、斯ウ云フ質問デアリマシタ、ソレニ對シマシテ一體、幼年職工ヲ廉ク使フト云フコトハ一方カラ即チ年長者ノ職工ノ賃銀ヲ廉クスルト云フ結果ニナル、ソレダカラ職工ノ一般經濟カラ見テハ大ナル影響ガ無イ筈デアアル、且ツ實際問題トシテモ十二歳以下ノ職工ノ數ト云フモノハ誠ニ少イ、全體カラ言フト百分ノ一ニモ達シナイ、即チ七厘九毛ト云フ割合ニナッテ居ル、ソコデ其上ニ十歳以上ノ兒童ハ引續イテ業務ニ從事サシテ居ルモノハ此後モ使フトコトガ出來ルヤウニナッテ居ルシ、輕易ナ業務ハ十歳以上ノ者ニ執ラセルト云フコトニナッテ居ルカラ、十歳以

下ノ者ハ其數言フニ足ラヌダケノ數ダカラ、實際問題トシテハ格別影響ガ無イト認メル、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、次ニ夜業ノ禁止ニ付キマシテ種々ノ質問ガ出マシタガ、一體女子ニ夜業ヲ禁ズルハドウ云フ譯デアアルカト云フ質問デアリマシタ、之ニ對シマシテハ女子ハ抵抗ノ薄弱ナモノデアアッテ且ツ過勞ノ弊ニ陥リ易イ、又外界ノ事情ニ迫ラレテ自衛ノ能力ヲ闕ク場合ガ多イノデアアル、ソレノミナラズ又深夜ノ労働ト云フモノハ風紀ノ上カラ成ルベク之ヲ禁ズルノデアアル、斯ウ云フコトデアリマシタ、又ナゼソレデアリ今直グニ之ヲ禁止ナイノカト云フ質問ガゴザイマシタ、之ニ對シマシテハ今直グニ夜業ヲ禁止スルト云フコトニナルト經濟上大ナル影響ガ及ブ、之ニ依ッテ最モ影響ヲ受ケルモノハ紡績業デアアル、紡績業ノ如キ大ナル資金ヲ固定サセテ、又製品ハ廣ク内外ニ需要セラル、モノハ、今イキナリ之ヲ禁止セラル、ヤウニナッテナラバ大變ニ困ルヤウナ場合ガ出來ルデアラウ、ソレ故ニ先年提出シタ法案ニハ十年ノ年期ヲ附ケテ置イテ、即チ十年ノ豫備期間ヲ與ヘテアッタ、然ルニ其後、生産調査會ニ於テ意見ヲ徵シテ、マダソレデモ十分デナイト云フ所デ十五年ト云フ年期ヲ定メテ之ヲ調和シタ次第デアアル、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、ソレカラ工場内ノ婦女幼少者ハ之ニ依ッテ保護スルコトガ出來ルガ、工場外ノ婦女幼少者ハドウスルノデアアルカ、斯ウ云フ質問ガ出マシタ、之ニ對シマシテハ工場外ノ婦女幼少者ヲ取締ルト云フ趣意デハナイ、先ヅ第一著手トシテ工場内ダケノ取締ヲスルノデアアル、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、次ニ休暇ニ付イテ質問ガ出マシタ、先進國ノ例ヲ見ルト、多クハ日曜日ハ休ンデ居ル、然ルニ日本ノ工場法ヲ見ルノニ、一箇月二回以上トシテアルノハ何故デアアルカ、何故ニ日曜日ヲ休マセルコトガ出來ナイカ、斯ウ云フ質問デアリマシタ、ソレニ對シテハ一箇月二回ト云フノハ少クトモ二回ト云フコトニナッテ居ルノデアアル、ソレ以上ハ日曜日ニ休マウトモ、又ソレ以上ニ休マウトモ工場ノ都合次第デアアルノダ、今日デハマルデ休暇ヲ與ヘナイ工場スラアルノデアアルカラ、先ヅ今日ノ所ハ二回グラキ程度トスル外、仕方ガナイ、併シ此日曜日ニ休ムト云フコトハ、是ハ外國ニ於テハ多ク宗教上ノ關係カラ來テ居ルノデアアルカラ、今日、日本デ必シモ日曜日ハ休マネバナラヌト云フコトヲ定メルニハ及バナイ、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、又職工ノ食物ニ付イテノ質問モ出マシタ、職工ヲ最モ健康ニスルノニハ食物ガ一番大切デアアルノダ、然ルニ之ニ向ッテ何モ規定ノ無イノハドウ云フ譯デア

ルカト云フ質問ガ出マシタ、ソレニ對シテ政府ハ十分其事ハ認メテ居ルケレドモ之ヲ法律ヲ以テ定メルト云フコトハ容易デナイカラ、是ハ訓諭指導シテ次第二善長ニスル積リデア、斯ウ云フ答辯デゴザイマシタ、ソレカラ又工場監督官ニ付イテノ質問ガ出マシタ、工場ノ監督官ハ如何ニシテ人選スルカ、又如何ニ之ヲ配置スルノデア、斯ウ云フ質問デアリマシタ、ソレニ對シマシテハ工場監督官ノ人選ハ無論、非常ニ周到ニヤル積リデア、サウシテ圓滿ニ此法律ヲ施行サセル積リデア、其人ハ寧ロ之ヲ地方廳ニ隸屬サシテ、サウシテ地方特殊ノ事情ニ應ジテ之ガ運用ヲ誤マラヌヤウニサセル積リデア、サウシテ中央ガ更ニソレヲ取締ル積リデア、斯ウ云フ答辯デゴザイマシタ、尙又最後ニ施行期限ト云フ話モゴザイマシタ、施行期限ハイツニナルノカ、「勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアルト、ドノクラキ時日ヲ要スルノカ、斯ウ云フ質問デゴザイマシタ、ソレニ對シマシテハ此法律ハ行政命令ニ委任シタ事項モ多シ、公私ノ意見ヲ徵スルコトガ澤山アルカラシテ、一年乃至二年クラキハ準備ニカ、ルデアラウ、斯ウ云フ答辯デゴザイマシタ、是ガ質問竝ニ答辯ノ極ク大要デゴザイマシタ、尙ホ希望ヲ述ベラレマシタカラ其希望ヲ二三申上ゲマス、一ツノ希望ハ工場ノ衛生上、病者ヲ保護スルト云フコトハ、是ハ勿論デア、ケレドモ病者ヲ生ゼサセヌヤウニスルノガ最モ必要デア、ソレ故ニ顧問醫ノヤウナモノヲ置カシテ其意見ヲ徵シテ始終、衛生ニ注意スルヤウニシテ貰ヒタイ、是ガ一ツデアリマス、モウ一ツハ日本ノ婦人ハ一體勞働ニ堪ヘ得ル資格ヲ有ッテ居ルト思フ、是ハ外國ノ婦人ト違フ、ソレ故ニ婦人ノ夜業ヲ禁止スルト云フコトニ付イテハ、モット十分ニ調査サレルヤウニ望ム、斯ウ云フ希望デゴザイマシタ、尙ホ一ツ希望ガゴザイマス、此法律ニ據ッテ行政命令ニ委任シタル所ノ事項ガ甚ダ多イガ、其發令ニ付イテハ運用ヲ誤マラザルヤウ十分注意サレタイ、且ツ我國ニハ主從的關係ノ美風ガ存在シテ居ルノデア、成ルタケ之ヲ保存シ、且ツ外國ノ美風ヲ採リ、サウシテ次第ニ成ルベク速ニ完全ナ位置ニ近ヅケルヤウニシテ貰ヒタイト云フ希望デゴザイマス、ソレカラ討論ニ入りマシタ、此討論ノ要旨ハ今日茲デ贊否兩方ノ論者ガ御述べニナルコト、思ヒマスカラ私ハ極ク簡單ニ其要點ダケヲ申上ゲテ置キマス、反對論者ノ言ハレマシタノハ、ドウモ工場法ハ誠ニ不完全デア、斯ノ如キ不完全ナルモノヲ發布スルト云フノハ實ニ國ノ恥辱デア、ソレ故ニ之ヲ延期スルノ意味ヲ以テ否決シテ、尙ホ一年間二十

分ノ調査ヲシテ、サウシテ完全ナモノ、提出ヲ望ム、斯ウ云フ意味ノ否決論デアリマス、之ニ一名ノ贊成者ガゴザイマシタガ、成立イタシマセヌ、次ニ條件附贊成説デアリマス、ソレハ此法律ニハ命令ニ委任シタル所ノ事項ガ多イカラシテ、若シ其命令ガ惡ルカッタトキニハ致シ方ガナイ、ソレ故ニ命令ガ惡ルカッタ場合ニハ最後ニソレヲ拒否スル權利ヲ議會ニ保留シテ置キタイ、サウ云フ修正ヲ茲ニ加ヘテ此案ニ贊成ヲシタイト斯ウ云フデアリマス、之ニハ贊成者ガアリマセヌデゴザイマシタ、次ニ贊成論者ノ言ハレマシタ所ハ、此法案ハ決シテ之ヲ以テ完全無關トハ認メテ居ラス、併ナガラ今日ノ我國ノ現狀デハ先ヅ之ヲ以テ満足シナケレバナラナイ、ソレニ若シ初メヨリ完備シタモノヲ望ンダナラバ、一年ドコロデナイ五年十年カ、ッテモ決シテ十分ナモノヲ得ルコトハ、ムヅカシイデアラウ、先ヅ此工場法案ニハ又此工場法案ノ特色ト見ルベキ點モアルカラ、此原案ニ贊成スルト云フノデアリマシタ、採決ノ結果、三名ニ對シマスル十一名ノ多數ヲ以テ原案即チ衆議院送付案通り可決イタシマシタ、此段御報告申上ゲマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 是ヨリ通告順ニ依リマシテ發言ヲ許可イタシマス、村田保君

〔村田保君演壇ニ登ル〕

○村田保君 本員ハ此法案ノ委員デ本案ニ反對ヲ致ス者デゴザイマス、近年ハ少壯ノ賢明ナル諸君ガ大分議場ニ御列席ニナッテ居リマスルカラシテ、本員ノ如キ老人株ハ成ルベク頭ヲ縮メテ諸君ノ御高説ヲ承ッテ贊否ヲ決シタイト思ッテ居リマシタガ、此法案ニ對シテハ何分ニモ頭ヲ縮メテ沈黙シテ居ル譯ニ行キマセヌカラ、久シ振リデ此演壇ニ登リマシテ諸君ノ清聽ヲ汚サウト存ジマス、本員ガ此法案ニ反對ヲ致シマスル第一ノ理由ハ、此工場法ト申スモノハ實ニ不完全極マッタ法案デ、工場法ノ體裁ヲ備ヘテ居ルモノデナイ、謂ハハ假裝ノ法律デ蟬ノ脱殻ノヤウナモノデア、ソレデ此工場法ト云フモノハ大概、餘所ノ國デモ第一番ニ工場ト申スモノハ清潔ニシナクテハナラヌ、或ハ臭氣ノ成リタケ出ナイヤウニシナクテハナラヌトカ、衛生上空氣ノ流通ヲ良クシナクテハナラヌトカ、或ハ危險ノモノハ豫防ヲシナクテハナラヌトカ、其他種々工場ノ設備ガゴザリマス、然ルニ此工場法ニ於キマシタラ、サウ云フコトハ少シモナイ、唯未成年者或ハ女子ノ就業ヲ禁ズルトカ、或ハ時間ヲ制限スルトカ云フコトガ殆ド十一箇條ホド委シク定メテゴザイマシテ、

ソレガ此法案ノ骨髓ニナッテ居ルノデアリマス、其他ハ十二條デゴザイマシ  
タカ、ソレハ唯病者トカ産婦ノ事ノ取締トカ云フヤウナコトデス、是等ハ何  
ニモ工場法デソナ御世話ヲシナイデモ工場主ガ能クシテ居ル、ソレカラ十  
三條デスガ、是ハ工場ノ停止ノ場合、或ハ其次ハ臨檢ノ場合、十五條ガ負傷  
或ハ病氣ト死亡ノ場合等ガ掲ゲテアリマシテ、一ツモ此工場ニ關スルコトハ  
無い、ソレデ此工場法ト云フモノハ殆ド本員ナドガ見マスト云フト、見世物  
ヲ見ルヤウナ心持ガスル、見世物ト云フモノハ看板ヲ立派ニ掲ゲテゴザイマ  
ス、中へ這入ッテ見ルト看板トハ大相違デアアル、丁度此工場法ハソナモノ  
デゴザイマス、ソレカラ此第一ニ私ノ工場法ニ非常ニ反對ヲ致シマス譯ト申  
スモノハ、此未成年者ノ十二歳以下ノ者ニハ就業ヲスルコトハナラヌトカ、  
或ハ十五歳未満ノ者、女子ハ一日ニ十二時間シカスルコトハナラヌトカ云フ  
コトデゴザイマスガ、コ、イラガ實ハ實際ニ行ハレルモノデナイ、ソレノミ  
ナラズ十三條デゴザイマス、此十三條ト申スモノハ工場ヲ停止スルト云フ場  
合デス、コ、イラハ實ハ餘程怖イ法律デ、當業者ノ頭ノ上へ爆裂彈ガパツト  
爆裂スルクラキ恐ロシイ法律ト思フ、トコロガ先般來、工業者ガ集マリマシ  
テ協議ヲ致スノニ、此未成年者或ハ女子ノ就業時間ニハ大變喧マシク隨分議  
論ガアッタサウデス、併ナガラ是ニ十五年ト云フコトガアルモノデスカラ、  
十五年先キデナケレバ使ハヌト云フコトデアルカラ、來年ノ事ヲ言フト鬼ガ  
笑フト云フガ、ソレヲ十五年先キニ使フト云フナラバ、工業者ニ忽チサウ云  
フ迷惑ガ無イカラト云フノデ、折合ッテ居ッタサウデス、ソレ故ニサウ云フ  
コトニバカリカラ入レテ居ッテ、最モ怖イ十三條ト云フモノハ或ハ工業者ガ  
見落シタデハナイカト本員ハ疑グッテ居ルデス、ナゼト云フニ是ハ實ニ工業  
者ニ最モ恐ルベキ法律ダト申スモノハ斯ウ云フコトガアル、行政官廳ニ於テ  
必要ダト見タトキ……或ハ公益ヲ害スルトカ、或ハ危害ノ虞レアリトカ、必  
要ト見タトキニハ工場ノ此所ガ惡ルイカラ直セトカ云フヤウナ命令ヲシテ聞  
カナケレバ工場ヲマルデ停止シテ仕舞フト云フ法デゴザイマスカラ、隨分恐  
ロシイ法、ソレデ豫メ工場法ニ於テ斯ウ云フコトハシテナラヌトカ、斯ウ云  
フ風ニシロトカ云フコトヲ示サヌカラシテ、工業家ハ自分ノ隨意ニ都合ノ宜  
イヤウニ工場ヲ拵ヘル、折角工場ガ出來上ッテ是カラ工業ニ取掛ラウト思フ  
トキ或ハ取掛ッタトキニ、官吏ガ出テ來テドウモ此所ハ惡ルイカラ此所ハ打  
毀ハシテ仕舞ヘトカ、此所ハ斯ウ云フ風ニ造リ變ヘナクテハナラヌトカ、ソ

レヲ聞カナケレバ、マルデ工場ヲ停止シテ仕舞フ、スルコトハナラヌト云フ  
コトヲバ言フコトガ出來ル、寢耳ニ水ヲカケタヤウナモノデ、實ニ其場合ニ  
折角拵ヘタ工場ヲ停止サレタラ如何デゴザイマス、工業主ト云フ者ハ澤山ナ  
職工ヲ抱ヘテ空シクシテ居ナクテハナラヌ、實ニ其工業家ノ頭ノ上へ爆裂彈  
ガ落チテ來ルヤウナモノデアアル、ソレデ是モ命令ト云フコトガアリマスカラ  
行政廳ノ命令ニ從ッテヤル、其行政廳ト云フモノハ郡役所マデモ包括スルノ  
デスカラ、隨分官吏ニハ人面獸心ナル奴ガ隨分アル、命令次第直グ工場ヲ  
打壞ハスト云フコトガアッテハ實ニ恐ロシイ、併シ此命令ト云フモノハ農商  
務大臣ガドウデモ勝手ニ出來ル、農商務大臣ガドウデモ出來ル命令デアリマ  
ス、トコロガ此農商務大臣ハ隨分御干涉ノ御好キナ御方ト本員ハ認メテ居  
ル、何事デモ御干涉ガ御好キデアアル、ソレハ御尤モデゴザイマセウ、ナゼカ  
ト云フト警察カラ上ガラレタ御方デアアル、ソレデスカラ成ルホド干涉シタイ  
ト云フノハ御尤モデゴザイマス、併ナガラ大臣ガサウ御干涉ガ御好デアアル  
云フト其屬僚ハ如何、其屬僚ハ大臣ヨリ一層ノ干涉ヲ致シマス、本員ガ主管  
シテ居リマスル大日本水産會ナドハ大臣ノ御命令カハ知りマセヌガ、非常ナ  
ル干涉ヲ受ケテ、實ニ是デハ年年我ガ日本ノ水産業ト云フモノハ次第ニ衰頽  
ヲ致スノミデ、悲惨極ッタコトヲ承ッテ居リマス、是ハ事實デゴザイマス、  
ドウゾ大臣ニ於テ餘リ御干涉ニナラヌヤウニ、餘リ御干涉ニナリマスルト、  
唯農商務大臣ヲ怨望スルノミデハゴザイマセヌ、ソレカラ本員ハ第二ニ於キ  
マシテ此工場法ガ實施ニナリマシタナラバ、我ガ本邦ノ工業ノ生産高ハ著シ  
ク減額ヲ致スダラウト確信ヲシテ居ル、又一ツニハ職工ヲ遊惰ニ導キ、貧民  
ハ益、困難ニ陥キルト云フコトガ明カダラウト本員ハ思ッテ居ル、ナゼト申  
セバ、如何ト申シマスレバ是マデ十歳以下ノ少年デモ隨意ニ工場デハ使ッテ  
居タノデゴザイマス、ソレヲ今更此法律ノ趣意ヲ解釋シマスルト斯ウ云フ  
コトニナル、十歳以下ノ子供ハ何モシナイデ遊ンデ居レ、斯ウ云フコトニナ  
ル、ソレカラ十二歳以上ト女工ニハ毎日十二時間ノ先キハ手ヲ束ネテ遊バシ  
テ居レヨ、斯ウ云フコトニナル、ソレカラ夜ナンドモ仕事ヲシテハナラヌカ  
ラ、夜ナドハ能ク寢テ居レ、斯ウ云フコトニナル、ソレカラ毎月少クトモ二  
回以上ハ終日何モシナイデ遊ンデ居レ、斯ウ云フ詰リ女工ニ遊ブコトヲ獎勵  
シテ居ルヤウナモノデゴザイマス、トコロガ日本ノ職工ト申ス者ハ男ガ二十  
万以上、女ガ四十万以上、殆ド日本ノ職工ト申ス者ハ女ガ男ノ倍數ノ職工デ

アル、ソレカラ又男ノ業ト申スモノハ女ノ手ヲ借リヌデハ出來スト云フコトモアル、ソレデ女ヲ休マセレバ男モ休マナケレバナラヌコトニナル、ソレデ如何デゴザイマセウ、此四十万、五十万、或ハ未成年者ヲ斯ノ如ク遊バセレバ忽チ日本ノ生産高ハ著シイ減額ヲ來タスハ火ヲ賭ルヨリ明カダラウト思フ、ソレカラ又職工ヲ斯ノ如ク遊バセレバ、ナカク此職工ナド、云フモノハ遊ベバ善イ考ヘハシナイモノデス、謂ハユル小人間居シテ不善ヲ爲ス、直チニ遊惰ニ流レル、遊惰ニナレバモウ仕事ヲスルコトハイヤニナル、仕事ヲスルコトハイヤニナルケレドモ金錢ハ使ヒタクナル、詰リ監獄ノ厄介ニナルト云フコトガアルノデス、ソレカラ職工ナド、申スモノハ貧民ノ者ガ多イ、家族兒童揃ッテ工場へ行ッテ夜ヲ以テ日ニ繼イデ其日ノ糊口ヲ凌グ者ガアルノデス、中ニハ六七歳ノ子供ヲ連レテ行ッテ、サウシテ子供相應ノ業ヲシマシテ僅カナ賃錢ヲ貰ッテ、サウシテ漸ク其日ノ活計ヲ立テ、行ク者ガ随分アルノデス、貧民ナド、云フモノハ、實ニ女工ナド、云フモノハ憫ムベキモノデアリマス、農商務大臣ハ大臣ニナラレマシテ、立派ナ馬車ニ召サレ

〔議長公爵徳川家達君議長席ニ復ス〕

立派ナル服ヲ召サレテ意氣揚々トシテ大臣ノ……謂ハユル風ヲ吹カセラレマスカラシテ、左様ナル困ッタ者ナドノコトハ御目ニ付カヌノデゴザイマセウケレドモ、貧民ト云フ者ハ實ニ哀レナモノデゴザイマス、ソレ等ノ糊口ニ迫ルヤウナ法律ハ成ルタケ立テラレヌヤウニシテ戴キタイ、ソレカラ第三ニハ此法律ト云フモノハ工場法ノヤウナモノハ決シテ此今日法律ヲ立テマスル立法ノ趣意ニ適ッテ居ルモノデハナイ、全ク立法ノ趣意ニ反シタルモノデア

院ヲ通過シタト云フノハ驚クノデス、御存ジノ通り昨年同院ニ於テ非常ニ反對ノ聲ガ高カッタノデ政府ガソレヲ撤回シテ仕舞ッタ、本年ノ法ヲ見マスルト、趣旨ニ於テ格別ノコトハ無い、唯右ノモノヲ左ノ手ニ持替ヘタ位ノ違ヒデゴザイマス、併シ是ガ衆議院ヲ通りマシタト申スノハ即チ十五年後ト云フコトガアルカラシテ、蓋シ衆議院ニ於キマシテハ十五年先キニ使フ法律デア

ルナラバ、ナニ今出シテ置イタ所ガ當業者ニハ痛クモナシ、痒クモナシ、毒ニモナラズ、藥ニモナラヌ法デアルト云フ簡單ナル理由ヲ以テ通過シタモノニ相違ナイ、モウ一ツノ原因ハ先般、桂總理大臣ガ衆議院ト提携ヲセラレタノガ一ツノ原因ダラウト思ヒマス、本員ナドハ大臣ニ同情シテ、大臣ノ心情ヲ察シマシテ窃ニ同情ヲ表シテ居リマス、併ナガラ其大臣ガ提携トカ或ハ意氣投合トカ云フコトヲ濫用シテ衆議院議員ニ阿リ諂フヤウナコトヲシテ、其他ノ手段ヲ以テ、サウシテ斯ノ如キ法文マデヲ通過セシメルト云フコトニナリマス、或ハ大臣ハ御手柄デアッテ御名譽カモ知レマセヌガ、國家ノ爲ニ將來大ニ憂フベキコトデアアル、此案ハ本院ニ於テモ大臣ガ誠ニ御助才ナイ御方デゴザイマスカラシテ、有力ナル或ル一部ヲ抱キ込マレテ其他ヲ網羅サセルト云フコトデアアリマスカラシテ、必ズヤ此案ハ本院ヲ通過スルニ相違ナイ、併ナガラ若シ此大臣ニシテ此策ナクバ如何ニシテ此法案ガ此貴族院ノ關門ヲ通過シマセウカ、否、決シテ通過セスト本員ハ存ジテ居リマス、本員ハ胸マデ出テ此上ニ大臣ノ心肝マデ發キタイト思ヒマスガ、此上ハ德義ヲ守ッテ申シマセヌ、本員ハ委員會ニ於キマシテ此工場法ト申スモノハ實ニ體裁ヲ備ヘナイ……大臣自ラモ不完全ダト云フコトヲ認メテ居ラレマス、ソレデ刻下ノ極ク急務ト云フ法デモゴザイマセヌカラシテ、且ツ斯様ナ法律ヲ今日出スノハ實ニ日本國ノ恥辱デアリマスカラ、ドウゾ當年ハ之ヲ御撤回ニナリマシテ、明年マデニ更ニ相當ナル修正ヲ致サレテ、サウシテ御提出ニナリマシタラ本員ハ喜ンデ其時ニハ贊成ヲ申上ゲマセウ、ト云フコトヲ哀訴懇願イタシマシタケレドモ御聽入ニナラヌ、本員ハ先年法律取調ノ御用ヲ以チマシテ二回ホド歐羅巴ニ參リマシタ、アチラデ有名ナル法律家ニモ大概ハ接シマシタ、其法律家ナドノ申スニハ、法律ハ以テ其國ノ程度ヲ知ルニ足ルモノダ、英國ハ實ニ工業ノ盛ンナコトハ確カデゴザイマス、其英國ノ工場法ト云フモノハ百五十有餘ノ箇條ガアッテ、サウシテ其他ニモ附則ノヤウナモノガ澤山ニアル、トコロガ日本ノ工場法ハ僅ニ二十五條ダ、斯クマデ英國ト日本ト比シ

テ……我が工業ノ程度ガ斯クマデ違ッテ居ルトハ本員ハ思ヒマセヌ、殊ニ今日ハ外國デハ餘程日本ノ工場法ナドニハ注意シテ居ル者ガアル、若シ出タラ直グ送ラウト云フ者ガアルコトヲ知ッテ居リマス、何トナレバ本邦ノ工業品ト云フモノハ外國デ全ク信用地ニ墜チテ居リマス、ソレデスカラシテ、ドウ云フ工場法ガ出ルダラウト見テ居ル、實ニ僅ニ二十五條バカリノ片輪ノ工場法、工場法ノ一部分デス、唯未成年者ヲ制限スルトカ云フ誠ニ一部分ヲ示シテ、是ガ大日本帝國、世界ノ一等國ノ工場法トシテ世界へ出サレルデゴザイマセウカ、恐ラクハ出サレマスマイ、實ニ本員ハ羞カシク思フ、ソレデ大臣ノ言ハレマスルノニ、ナカク此工場法ト云フモノハ十數年カ、ッテ出シタモノダト云フコトヲ言ハレル、本員ハ回顧ヲ致シマスルト、故司法大臣、山田司法大臣、同大臣ハ如何デゴザイマス、僅ニ三年間バカリノ日子ヲ以テ裁判所構成法ヲ初メ、民法、民事訴訟法、商法、商法施行法、刑事訴訟法、此大法院數千條ノモノヲ提出シタデハゴザイマセウカ、今ノ大臣ハドウデゴザイマス、僅カ二十五條ノ工場法ヲ出シテ意氣揚々トセラレル、何ト元ノ大臣ト今ノ大臣ノ輕重ハコンナモノカト思フト國家ノ爲ニ痛歎ニ堪ヘヌノデゴザイマス、如何デゴザイマセウ、大分違ッタモノデゴザイマセウト思ヒマス、是ハドナタモ斯ウ云フ感ガアルダラウト思ヒマス、委員會ニ於キマシテ或ル兩三名ノ委員ハ贊成ノ意見ヲ出サレマシタ、其一ノ委員ノ言ハレルノニハ此女子、或ハ幼者ナド、云フモノハドウシテモ保護シナクチャナラヌト云フモノハ工場主ノ壓迫ヲ受ケル、壓迫ヲ受ケタ時ニ抵抗力ノ乏シイ者デアル、大人ナラ抵抗ガ出來ルケレドモ、幼者女工ナド、云フ者ハ抵抗力ノ無イ者ダカラ之ヲ保護シテヤラナクチャアナラヌ、又此十五條ナドニ至レバ職工ノ病氣、又其負傷ノ場合ニ之ヲ扶助シテヤルト云フコトハ、是ハ餘所ノ國ニハ無イ、日本ノ工場法ニハ掲ゲテアル、是ハ世界ニ誇ルベキモノダト云フコトヲ言ハレタ、本員ハ心中實ニ抱腹ニ堪ヘナイ、實ニ實際工場ノ有様ヲ知ラヌ、本員ハ此日本全國内地ノ工業場ノ重ナルモノハ視察シナイ所ハ無イデス、ソレハ府下デモ私ハ五十六箇所ヲ見テ居リマス、ソリヤア細カイ工場ナラバ齒磨ノ製造場、石鹼ノ製造場マデ見テ居リマスケレドモ、本員ノ見マス所デハ、ナカク日本ノ工場ハ實際ソシナモノデハナイ、ナカク工場主ガ職工ヲ壓迫スルダノソシナ譯ノモノデヤアナイ、ソリヤア多イ中ニハ無イトハ言ハレマセウケレドモ、本員ナドノ見テ居ル所デハ、ナカク今日ノ職工ナド、云

フモノハ少シデモ壓迫スレバ直グ脇へ逃ゲテ行ッテ仕舞フ、給金ガ良ケレバ直グ其所へ行ク、丁度我々ガ使ッテ居ル雇人ノヤウナモノデアル、旨イ物ヲ食ハセレバ其所ニ行ク、斯ウ云フヤウナ有様ニナッテ居リマス、今日ハ工場主ガ職工ノ機嫌ヲ取ッテ居ルト云フ有様ガアル、サウシテ大工場デアリマス、能ク行届イタモノデ、醫者モアレバ、病室モアリ、中ニハ學校ガアル、學校ヲ設ケテサウシテ子供ヲ養ッテ居ル所ガアル、ソレノミナラズ、此陸軍ナンドニゴザイマス酒保トカ何トカ云フ……何デモ物ノアル、サウ云フ酒保ノヤウナモノマデモ工場ノ側ラニ置イテ居ル所ガアル、其クラキ、ナカク日本ノ工場ト云フモノハ行届イテ居ルモノデサウ其壓迫スルナンド、云フコトハ無イ、ソレデ扶助モ其ノ通り、矢張り此賃銀ヲ以テ工場主ガソレニサウ云フ病氣或ハ死亡ノ場合ノ爲ニ貯蓄ガシテアル、或ハ保險ヲシテ居ルト云フヤウナモノガアル、サウ云フ組織ト云フモノガ、ナカク良ク付イテ居リマス、ソレハ嘘ト思フナラ實際行ッテ御覽ナサイ、實ニ明カデアル、デ、外國ニコンナ法ガ無イ、日本ニハ是ガ掲ゲテアル、實ニ日本國ノ誇ル所ダ、斯ウ言ハレマスガ、外國ハドウシテソシナモノデハナイ、アチラデハ勞働者ト云フモノハ皆大概保險ガシテアリマス、色々サウ云フ會社組織ガ出來テ居リマスカラ、其法律ニ掲グル必要ガ何處ニアリマスカ、チットモ無イ、ソレカラ一人ノ贊成演說ヲセラレマシタ御方ノ說ヲ見ルト、連モ此完全ト云フ法律ハ五年經ッテモ十年經ッテモ出來ルモノデヤナイ、ソレヨリ今大キナ目ノ網ヲバ、グッ掛ケテ置イテ、サウシテ段々小サナ目ニシテ行クガ宜イ、ト云フヤウナ贊成ノ趣意デアリマス、本員ニハ其趣意ガ能ク了解イタシマセヌガ、併シ軍サノ事ハ本員ハ知リマセウケレドモ、網ノ事ナラ本員ノ方ガ能ク知ッテ居ル、網ノ大キナ目ハ大キナ魚ガ捕レ、小サナ目ハ小サナ魚ガ捕レル、併シ本員ノ知ラナイ網ガアル、無形ノ網ト云フモノガアル、是ハ恐ロシイモノデアリマス、是ハ魚ヲ捕ル網デハナイガ、此網ヲ掛ケラレタナラバ一旦反對シタ者デモ贊成シナクチャナラヌト云フ網ダカラ、餘程怖イ網デアル、終リニ臨ミマシテ、本員ハチット過激ノ事ヲ申上ゲテ御耳ニ或ハ障リマシタカモ知リマセヌガ、此段ハ偏ニ御容赦ヲ願ヒマス、ソレデ本員ハ此法案ハ唯今縷々述べマシタ通り、實ニ今日ノ急務デモナケレバ、又工場法ノ一部、片輪ノ法律デゴザイマスカラシテ、斯様ナ法律ヲ今日出シテ是ガ日本國ノ工場法トシテ世界ニ現ハレマスノハ、實ニ慨歎ニ堪ヘヌデアリマスカラ、ドウゾ今回ハ之ヲ

否決シテ置イテ、明年ドウゾ政府カラ完全ナルモノヲ御提出ニナラムコトヲ本員ハ偏ニ希望スルモノデアリマス、ドウゾ諸君ニ於カレマシテモ御賛成クダサイマシテ……御差支ヘナイ御方ハドウゾ御賛成ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 桑田熊藏君

[桑田熊藏君演壇ニ登ル]

○桑田熊藏君 本案ハ我國ノ社會政策ノ基礎ヲ爲スモノデアリマシテ、我國七十萬ノ労働者ノ利害休戚ニ密接ノ關係アルモノデアリマス、シカモ十餘年來ノ問題デアリマシテ、既ニ輿論ノ贊同ヲ得、又衆議院ニ於テモ異議ナク通過シタデアリマス、此案ニ對シテ貴族院ニ於テ苟且ニモ反對ノ聲ヲ聞クノハ意外千萬、且又遺憾千萬ニ思フ所デアリマス、ソレデ私ハ是ヨリ強チ村田君ニ對シテ辯駁ハ致シマセヌ、世間ニ於テ又此委員會ニ於キマシテ出マシタル反對ノ意見、或ハ委員會ニ於テ質問ノ形式ニ於テ發表サレマシタ反對意見ガアリマスルカラ、ソレヲ綜合イタシマシテ辯明ヲ致シタイト存ジマスル、反對論ノ第一ニハ我國ノ工場ニハ資本家ト労働者ノ間ニ於テ主從ノ關係ガアル……主從關係ノ美風ガアルノデアアル、然ルニ今若シ工場法ヲ制定シマス云フト此美風ハ泯滅ニ歸シテ、權利義務ノ關係ガ之ニ代ハルコトニナルカラ、是ハ憂フベキコトデアアル、此反對論ニ對シテ簡單ニ答ヘ得ルト思フ、主從關係ノ美風、之ヲ存續イタシマスコトハ本員モ之ヲ熱心ニ希望イタシマス、サリナガラ、此工業進歩ノ大勢ハ此主從關係ノ存續ヲ許サナイ、ナゼカト申シマス、此主從關係ハ小工場ニ於テ行ハレ易ク、大工場ニ於テ行ハレ難イノデアリマス、又個人營業ニ於テ行ハレ易ク、會社營業ニ於テ行ハレ難イノデアリマス、工業ノ大勢ヲ見マス云フト漸次小工場カラ大工場ニ進ミ、又個人營業カラシテ、會社營業ニ進ムノハ是ハ内外ヲ通ジタ一般ノ趨勢デアアル、ソレ故ニ此主從關係ノ美風ハ工業ニ於テハ甚ダ存續シ難イノデアリマス、且又此産業ニ關スル自由競争ガ次第ニ激烈ニ赴キ、國內ノ競争、國際ノ競争、實ニ此産業ノ競争ハ益、猛烈ニナリマス、其結果トシテ假令ヒ工場主ニ慈善心ガアリ、義侠心ガアリ、義侠心ガアリマシテ主從關係ヲ存續シヤウト思フテモ、産業ノ競争上已ムナク、此關係ヲ保存スルヲ得ザル譯ニナリマス、之ヲ實際ニ徴シテ見マスルト、我國ノ紡績工場ニ於キマシテハ晝夜交替ノ就業方法ニ依ッテ十二時間ヅ、労働ヲシテ居リマス、然ルニ若シ夜業ノ組ノ職工ニ闕員ガアリマシタトキニハ、晝業ヲ既ニ十二時間終ツタ職工、ソレヲ夜業ノ

補充ニ使フノデアリマス、其時ハ二十四時ノ労働ヲ爲スノデアアル、更ニ翌朝ニナリマシテ晝業ノ組ニ於テ職工ニ闕員ガアリマス云フト、既ニ二十四時間労働シタ職工ヲ更ニ十二時間使フ、合計三十六時間ノ労働ヲ爲サシムルノデアリマス、此悲惨ナル境遇ニ置イテアル職工ノ中ニハ憐ムベキ婦女モアリ幼者モアルコトヲ御注意ヲ願ヒタイ、固ヨリ是ハ我國ノ紡績工場主ハ矢張り人間デアリマスカラ人情モ解シ道理モ解シ、虐待スルコトハ衷心好マナイノデアリマスケレドモ、産業ノ競争上已ムナク斯カル方法ニ依ッテ職工ヲ使用シナケレバ自家ノ産業ノ基礎ガ鞏固デナイ、詰リ生存競争ノ必要上已ムナク斯カル使用ノ方法ヲ爲スノデアリマス、ソレ故ニ私ハ此點カラ申シマシテモ、此主從關係ノ存續ハ甚ダ困難デアアルト申シタイトデアアル、本員ハ茲ニ諸君ニ明言イタシタイトハ、主從ノ關係ハ雙務的ナルベシ片務的ナルベカラズト申シタイトデアアル、工場主ガ主從關係ノ義務ヲ果サナイニ、職工ニ向ッテ主從關係ノ義務ヲ果セト云フコトヲ要求シマスノハ是ハ雙務的ナラズシテ片務的要求デアルカラ、我輩ハ社會的政策上斷然反對セザルヲ得ナイ、反對論ノ第二ハ國民經濟ノ發展ヲ工場法ハ阻害スルモノデアアル、工場ノ經營ニ關シマシテ工場主ノ自由ヲ阻害シ、從ッテ此經濟ノ發展ヲ妨ゲルモノデアアル、斯ウ云フ反對論ガアリマス、村田君ノ御説モ稍、之ニ近イヤウニ考ヘマシタ、説明ハ甚ダ簡單デアリマシタガ、論旨ハサウデアッタヤウデアリマス、元來經濟ノ發展ノ條件ハ資本ト勞力ノ二ツノモノヲ保全シ進歩セシメテ行クベキモノデアリマス、從ッテ保護政策ノ實行トシマシテハ資本家ノ保護ト同時ニ労働者ノ保護、此二ツノ方法ヲ執ルベキモノデアアルト信ジマス、從來我國ノ政府ノ保護政策トシテ實行シテ來マシタコトヲ見マス、資本家ノ保護ニ付イテハ實ニ至ラザルナク、或ハ低利資金ノ貸付トカ、或ハ巨額ノ補助金ヲ與ヘ、或ハ關稅政策ノ方法ニ依ッテ資本家ノ保護ハ實ニ十分デアアルト信ジマス、然ルニ労働者ニ向ッテドウ云フ保護ヲ政府ガ與ヘタカト云フト、殆ド之ヲ見ルコトヲ得ナイ、工場ニ參リマス云フト、職工ノ年齢ニ制限ナク労働時間ニ制限ナク、最モ衛生ニ害アリト世人ノ認メテ居ル所ノ徹夜ノ業サヘモ之ヲ禁止シタイト云フ今日ノ状態デアリマス、若シ此状態ニシテ數十年ヲ經過シマスレバ我國ノ産業ノ基礎タル勞力ノ供給ガ果シテ全キヲ得マセウカ、又労働者ガ労働ニ趣味ヲ有ッテ勤続年限ヲ長クシ技術ノ改良進歩ヲ圖ルコトガ出來マセウカ、是ハ到底現在ノ状態ヲ以テシマシテハ空想デアアルノデアリマス、

今簡單ナル例ヲ申シマス、生絲業者ガ本案ノ勞働時間ノ制限ノ規定ニ向ッテ最モ反對ノ聲ヲ高メテ居ルノハ、私ハ甚ダ愚論デアルト思フ、生絲業者ハ勞働時間ノ制限ニ向ッテハ寧ロ歡迎ノ意ヲ表スベキモノデアッテ反對スベキ理由ハ毛頭ナイト信ジマス、御承知ノ如ク、日本ノ生絲業ハ近時長足ノ進歩ヲ致シマシテ、既ニ佛蘭西ヲ凌駕シ、又伊太利ト拮抗セムトシテ居ル状態デアリマス、此時ニ當リマシテ此伊太利ト日本ト生絲業ノ競争ニ付イテ、日本ノ生絲業者ノ執ルベキ方針ハドウカト云フト、品質ノ改良、絲ノ品質ヲ良クシナケレバナラス、是ガ日本ノ生絲業ノ前途ノ方針トシテ最モ大切ナルモノデアル、此意味ニ於キマシテ政府カラ提出ニナッタ蠶絲業法ノ中ニ蠶種統一ト云フコトガアリマス、之ニ向ッテ本院ニ於キマシテハ協賛ヲ與ヘタノデアル、今法律ニ據ッテ蠶種ノ統一ヲ致シマシテ、生絲業者ノ使フ原料ヲ一定イタシマシテモ、之ニ向ッテ勞働時間ニ制限ヲ加ヘナイト、到底品質ノ改良ハ出來マセズ、現在我國ノ生絲業ノ根據地タル信州地方ニ於キマシテハ勞働時間ハ十五六時間ガ普通デアッテ、甚シキハ、十八時間クラキモ使ッテ居ル工場ガアルノデアル、十五六時間乃至十八時間モ職工ヲ使ヒマシテ、職工ノ精神氣力モ全ク疲レ果テ、居ル、此職工ニ向ッテ精良ナル生絲ヲ造レ、品質ノ改良ヲシロト云フコトヲ望ムノハ、如何ニ蠶種ノ統一ヲ致シマシテモ、是ハ空望デアルト信ジマス、故ニ品質ノ改良ヲナサムト欲セバ、先ヅ蠶種ノ統一ト同時ニ勞働時間ノ制限ヲ致シマシテ、生絲業ノ改良ヲ圖ルコトガ必要ト考ヘマス、第二ノ反對論ハ工場法ハ年齢ノ制限ヲ設ケタ爲ニ職工ヲシテ失業ノ地位ニ陥ラシムル危険アリト云フ斯ウ云フ論デアリマス、之ニ對シマシテハ先ヅ本法ノ規定ニ據ッテ工場カラ除外サル、所ノ職工ハ極メテ少數デアルト云フコトヲ御注意ヲ願ヒタイ、而シテ又此少數ノ職工ガ工場カラ除外サレマス結果トシマシテ、之ニ代ッテ青年ノ男女工ガ工場ニ這入りマス所ノ勞働社會ノ生計ノ状態ニ於テハ決シテ悪シキ影響ハ無イコトヲ我々ハ信ズルノデアリマス、且又若シ本法ノ保護ナカリセバ十歳以下ノ子供ガ工場ニ於テ勞働イタシマス、其爲ニハ發育ガ不充分デアリマシテ、將來強健ナル職工トシテ十分ノ收入ヲ得ルノ機會ヲ殺グモノデアリマスカラ、除外サレタル職工自身ノ利害カラ考ヘテ見マシテモ、自ラ明白ナコトデアリマス、現在ノ利益ヲ犧牲ニ供シテ將來ヨリ大イナル利益ヲ得ヤウト云フノデアリマスカラ、是ハ説明ヲ要シナイノデアリマス、之ヲ國家ノ利害カラ考ヘテ見テモ、小サイ子供ヲ工場ニ於テ使フノ

ハ丁度山林事業ニ於キマシテ、マダ成長シナイ小サイ木ヲ伐採スルト同ジコトデアル、是ハ不經濟ナル勞力ノ使用方法ト言ハザルヲ得ナイ、反對論ノ第四ハ本案ニ於ケル職工ノ保護ハ極メテ不十分デアッテ到底職工保護ノ目的ヲ達シ得ラレナイト、斯フ云フ非難デアル、其事實ト致シマシテハ適用ノ範圍ガ狹キニ失スルコト、又時間ノ制限徹夜業ノ禁止ニ付キマシテハ十五年ノ猶豫期間ガアルコト、ソレカラ又本案ニ據ル保護ハ婦女幼者ニ偏シテ青年男工ニハ利益ガ少イト云フ反對論デアリマス、此適用ノ範圍ガ如何ニモ狹イト云フ、是ハ御同感デアル、時間ノ制限、徹夜業ノ禁止ニハ猶豫期間ガ十五年間アル、是モ如何ニモ遺憾ニ存ジマス、然レドモ我國ノ工業ノ發達ノ程度ヲ考ヘテ見マスルト云フト、我々ハ遺憾ナガラ斯カル不完全ナル工場法ヲ以テ甘ンジテ、成ルベク産業ノ發達ヲ阻害シナイコトヲ圖ラザルヲ得ナイ、此理由ニ依リマシテ、是等ノ不備ナル點、不滿ナル點ハ我々ハ涙ヲ揮ッテ之ニ贊成ヲ表シマス、本案ノ規定ガ婦女幼者ノ保護ニ偏シテ青年男工ニ及バナイト云フ非難ニ對シマシテハ一言ノ辯明ヲ要シマス、此工場法ノ精神ト致シマシテ、二ツノ主義ガアリマス、工場ノ設備ノ監督、是ハ建築若クハ機械ニ關スル監督、ソレカラ一ツハ勞働ノ方法ノ監督、是ハ時間ノ制限或ハ徹夜業ノ禁止ト云フヤウナコトデアリマス、ソコデ本案ニ於テ此勞働方法ノ監督ニ付キマシテハ、是ハ保護ガ婦女幼者ニ偏シテ青年男工ニ及バナイト云フ非難ハ是ハ正當デアリマス、併ナガラ此工場設備ノ監督ニ付キマシテハ、是ハ何モ婦女幼者ノミガ其恩典ヲ受ケル譯デハナイノデ、苟モ工場ニ居ル者ハ婦女幼者デアレ、青年男工デアレ、總テ同一ノ利益ヲ受ケルノデアリマスカラ、此點カラ言ヘバ今回ノ工場法案ハ青年男工ニ向ッテハ何等ノ恩典ナシト云フ論定ハ是ハ不當デアリマス、ソレカラ先刻村田君カラ御叱リヲ受ケマシタガ、私ガ此法案ノ最モ特長トシテ大書特筆スベキ一ツノ規定アルコトヲ認メテ居リマス、ソレハ何デアアルカト云ヘバ、第十五條ニ於キマシテ災害ニ罹リタル職工ノ扶助規定デアリマス、此災害ニ罹リタル職工ノ扶助規定ト云フモノハ歐羅巴ノ法律ニ於キマシテハ勞働保險法ノ一部トシテ制定サレテ居ルノデアリマス、工場法ニ含マレテ居ルノハ、全クアリマセズ、然ルニ我ガ本案ニ於キマシテハ此歐羅巴ノ勞働保險法ノ一部トシテ、シカモ之ヲ制定シマスルニ付キマシテハ幾多ノ星霜ヲ經、困難ヲ經テ出來上ガツタル其勞働保險法ノ規定ヲ我ガ日本デハ之ヲ工場法ノ一部ト致シマシテ、直チニ

之ヲ實行スルコトハ如何ニモ社會政策上、一大快事ト我々ハ存ジマス、恐ラク村田君ハ工場法ト勞働保險法トノ區別ヲ御存ジナイカト存ジマス、尙ホ結論ト致シマシテ一言イタシテ置キタイノハ、此議場デ外國ノ例ヲ申スノハ、如何ニモ僭越ト考ヘマスケレドモ、獨逸ニ於キマシテ工場法ノ制定ハ普魯西ガ始マリデアリマス、此普魯西ニ於キマシテ、ドウ云フ主義ニ依ッテ工場法ガ出來タカト申シマス、徴兵検査官ガ或ル工業地ニ參リマシテ、壯丁ノ身體検査ヲヤッタ、トコロガ其工業地ニ於ケル壯丁ニ如何ニモ不合格者ガ多カッタト云フ事實ヲ發見シタ、ソコデ其検査官ガ政府ニ意見ヲ陳述イタシマシテ、是ハドウシテモ工場法ヲ以テ此工業ニ於ケル勞働者ヲ保護シナケレバイケナイ、斯ウ云フ論カラシテ、普魯西デハ工場法ガ出來マシタ、我國ニ於キマシテハ斯カル事實ガ有ルカ無キカハ姑ク未決ノ問題ト致シテ置キマス、サリナガラ政府ノ調査ニ依ルト云フト、工場職工ノ疾病ノ割合ハ普通ノ人民ニ比シテ餘程多イノデアアル、且又監獄ノ囚徒ニ比シテモ尙ホ割合ガ多イト云フ事實ヲ政府委員カラ承リマシタ、若シ斯カル事實アリトセバ、我國ノ國防軍備ニ非常ナル關係ノアル問題ト考ヘマス、年々二億ノ軍事費ヲ抛チ、海ニ五十万噸ノ船ヲ浮ベ、陸ニ百万ノ兵ヲ養ッテ居ル我ガ帝國ノ前途ガ此工場職工ノ爲ニ遂ニ危キ状態ニ陥ルコトヲ思ヘバ、ドウカ諸君ハ我ガ國家ノ前途ノ爲ニ本案ニ御賛成アラムコトヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 廣澤伯爵

〔伯爵廣澤金次郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵廣澤金次郎君 諸君、通告者ニ反對論ガアルカト思ヒマシタ所ガ不幸ニシテ村田君ノミデ反對論ガアリマセヌニモ拘ラズ、玆ニ會期切迫ノ際、諸君ノ御清聴ヲ煩ハスノハ、甚ダ恐縮デアリマスガ、本員モ委員會ニ於テ種々質問ヲ致シマシタ、政府ノ説明ヲ聽キマシタ結果、此際成ルベク簡單ニ一言述べマス、前申ス如ク私ハ本案ニハ反對者デハナイノデアリマス、賛成者ノ一人デアリマス、併ナガラ私ノ賛成イタシマスル論旨ハ、唯今桑田君ノ御述べニナツタトハ少シク違ヒマスルカラ、玆ニ已ムヲ得ズ登壇シテ一言述べテ置ク必要ガアルト考ヘルノデアリマス、本員ハ大體申上ゲマスレバ、此度提出ニナツテ唯今問題ニナツテ居リマスル工場法案ハ、完全ナモノトハ認メテ居ラス一人デアリマス、併ナガラ無キニ優ルト云フ意味ヲ以テ之ニ賛成ヲ表スルノデアリマス、即チナゼ完全ナモノデナイカト申シマスルト、是ハ既ニ當

局ノ大臣モ又政府委員モ同様ニ認メテ居ルノデアリマス、即チ御覽ニナリマスルト能ク分リマスガ、工場法案ト申シマスルガ、工場設備ノ點ニ於テハ一箇條モ之ニ規定シテ居ルコトハ無イノデアリマス、然ルニ本法ノ第十三條ト思ヒマスルガ、十三條デハ此工場ノ設備ノ變更若クハ改築ヲ命ジ得ルコトガ出來ル命令權ヲ當局大臣ニ與ヘルノデアリマス、其他工場ノ衛生又ハ風紀ニ關シテノ規定シタ條項モ無イノデアリマス、又唯今村田君……村田君デハアリマセヌ、桑田君モ述べラレタ如ク青年ノ男工ニ對シテ是ガ勞働時間ノ規定モ無シ、又是ガ夜業ノ時間ノ制限ト云フ條件モ何モ無イノデアリマス、故ニ私ハ決シテ此法案ハ工場法案ト認ムベキ完全ナ案トハ認メナイノデアリマス、併ナガラ能ク考ヘテ見マスルニ、今日ノ我國ノ工業ノ状態ハ如何デアリカト云フコトヲ深く攻究セニヤナラヌト考ヘラレマス、是ハ諸君御承知ノ通り、我國ノ工業ト云フモノハ最近ニ至ッテ漸、發達イタシマシテ、將來ハ益々發達スベキモノトハ考ヘマスルガ、今日ハ工業モ千變萬化、又各地ノ地方ノ事情ニ依リマシテ種々ノ變態ヲ來タシテ居ルノデアリマス、故ニ今日全國ノ工場ヲ通ジテ是ガ建築設備ノ規定ヲ設クルトカ、或ハ衛生風紀上ノ規定ヲ設クルトカ、或ハ勞働者ノ時間ヲ全國ノ工場ヲ通ジテ是ガ規定ヲスルト云フコトハ、遺憾ナガラ今日ノ我國ノ工業ノ發達ノ状態ニ於テハ、是ハ政府ニ無理ヲ求メルモノト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソナラバ今日出テ居マス如キ工場法案ハ無キガ優ルカト申シマスレバ、是ハ私ハ村田君ト反對デ、反對ニ考ヘルノデアリマス、今日ハ諸君モ御承知ノ如ク製絲業殊ニ製絲場ノ如キニ於テハ隨分幼者及婦女ノ職工ヲ虐待スルト云フコトハ、諸君ノ耳ニモ這入ッテ居ルダラウト考ヘラレマス、且又今桑田君ガ例ニ取ラレマシタ第十五條ノ扶助規定ノ如キモノモ、少シモ之ヲ扶助ノ規定ヲ設ケナイ工場ガ多クアルノデアリマス、又本法ニ據ッテ今度新シク設ケラレマスル第十七條ニ依ッテ職工ノ雇入、解雇又周旋ノ取締、斯ウ云フ規定ガ無イ爲ニ、製絲業者ノ工場ニテハ殆ド人身賣買ノ如キ惡弊ガ現ハレテ居ルノデアリマス、是等ノモノヲ今日取締ル必要ハ十分アルト認メナケレバナラヌト考ヘラレマス、又一方ハ本法ニ規定ハアリマセヌガ、工場ノ設備ニ關シマシテモ、今日ハ中工場以下ニ於キマシテハ、經費ヲ要セズシテ衛生若クハ風紀上ニ改良シ得ベキモノガアッテモ、行政權ノ即チ監督ノ無キガ爲ニ、是等ヲ放任シテ居ル工場ガ幾ラモアルノデアリマス、是等ノ工場ノ闕點ハ此十三條ノ命令ニ依ッテ一般ノ職工ノ衛生及風

紀ノ爲ニハ、工場主ヲシテ經費ヲ成ルベク要セズシテ是ガ改良ヲ命ズルコトガ出來ルト云フコトハ、今日即チ私ガ申シマスル、斯ノ如キ法律ハ寧ロアツタ方ガ宜イト考ヘルノデアリマス、唯私ガ茲ニ是カラ申上ゲタイコトハ、此工場法案ノ中ニハ第十一條ト云ヒ、第十三條ト申シ、又十五條、十七條、立法權ヲ命令ニ委任シタ條ガ多イノデアリマス、而シテ此委任命令ガ若シ是ガ主務大臣ニシテ此委任命令ノ發布サル、コトヲ誤ッタ方針ヲ採ラレタナラバ、實ニ工業主ハ一種ノ杓子定規ノ取締規則ノ爲ニ迷惑スルコト少カラヌト考ヘルノデアリマス、併ナガラ政府委員ハ委員會ニ於テ質問ニ答ヘテ曰ク、將來本法ノ中ノ規定ニ據ッテ發シマスル命令ハ……命令ト申シマスルハ、種々ノ取締規則若クハ本法ノ施行細則ノ如キモノハ、相當ノ諮問機關ガアルナラバ此機關ニ諮問ラシ、且又工場主ニモ意見ヲ徵スルコトガ出來得ル場合ニハ、成ルベク工場主ノ意見ヲ徵シ之ヲ參酌シテ、而シテ是ガ發布ヲスルト云フコトデアリマス、故ニ本員ハ政府ノ説明ニ十分信ヲ置キマシテ、將來是等ノ命令ガ發セラレル場合ニハ、成ルベク杓子定規ノ取締規則ナドヲ設ケラレズシテ、成ルベク今日完全ナル工場法案ヲ制定スルコトガ出來マセスト同様ナル意味ヲ以テ、今日ノマダ發達不十分ナル工場ノ状態ニ適シタ取締規則ヲ以テ、工場主ノ迷惑ヲ來タサヌト云フコトニハ十分ノ注意ヲ置カレムコトヲ希望スルノデアリマス、ソレト、モウ一ツ唯今桑田君カラ十七條ノ點ニ於キマシテ職工ノ雇入、解雇其他ノコトニ付キマシテ、我國ノ工場ニ於キマスル工業主ト職工トノ關係ハ、他ノ商業其他ニ於ケルガ如ク、我國古來ノ美風ナル主從ノ關係ト云フコトハ將來保チ得ヌト云フ御説デアリマシタケレドモ、此點ニ於テハ私ハ桑田君トハ意見ヲ異ニスルノデアリマス、實例ヲ申上ゲテモ今日ニ於テ少シク完全シタト認ムベキ工場ニ於キマシテハ此主從ノ關係、此美風ヲ保存スルヤウニ努メテ居ルノデアリマス、即チ工場ニハ十分ナル設備ノアル病院ヲ置キ、又扶助方法ニ於テハ職工ノ共濟會ノ如キ機關ヲ設ケマシテ、工業主ト職工ト相共ニ職工ノ共濟ヲ努ムルト云フヤウナ機關ノアル工場ガ幾ラモアルノデアリマス、故ニ將來政府ガ十七條ノ職工ノ雇入、解雇其他ノ取締規則ヲ設ケラレマス際ニハ、從來ノ主從ノ美風ト云フコトヲ念頭ニ置カレテ、是等ノ規則ヲ制定セラレタイト云フ希望ヲ申ス一人デアリマス、又是等ノ規則ヲ設ケマスル場合ニ於テ主從ノ關係ト云フコトヲ頭ニ置キマセスト、或ハ却ッテ是ガ職工ノ即チ惡ルイ職工ノ社會黨的ノ武器ニモ用キラレルト云

フ懸念ガアルカラ、是等ノ規則ヲ將來規定セラル、場合ニハ、殊ニ此點ニ政府ハ御注意アツテ、折角職工ノ將來ノ爲ニ出來マスル規則ヲ却ッテ濫用サレテ、是ガ危險ナル状態ヲ來タサヌヤウニ、政府ニ十分御注意アラムコトヲ希望イタスノデアリマス、ソレデ他ニ申上ゲルコトガ澤山アリマスルガ、マダアトニ高木男爵カラモ御演説ガアリマスカラ、本員ノ如キハ成ルベク茲ニ略シマシテ、ソレデ要スルニ本案ハ私ガ見マスル所デハ工場法案トハ實ハ表題ガ大キ過ギルト考ヘルノデアリマス、即チ職工中ノ幼者、病者及婦女子ノ保護法案ト云フ風ニ本案ニ寧ロ命名スベキ法案デアリマス、併ナガラ是等ノモノハ何レノ國デモ工場ノ發達ニ伴ヒマシテ完全ナル工場法案ト云フモノヲ制定サレルコトガ當然デアリマシテ、我國ノ今日ノ工業ノ状態ニ對シテハ先ヅ斯ノ如キモノヨリ始メテ漸次是ニ枝ヲ張ラセ花ヲ咲カセ、而シテ事實上ニ伴ヒマシタル追加改正ヲ加ヘテ、今後何年カ分リマセヌガ、或ハ十年ナリ二十年デモ宜イカラ、今後漸次之ヲ完全ナル工場法ニシタイト云フ意味デ本員ハ贊成シタイノデアリマス、終リニ臨ンデ政府當局者ニ此際希望シテ置クノハ、唯今述ベマシタ本案ニ伴ヒマスル命令ヲ發布セラレル場合ニハ、成ルベク今日ノ工業ノ實情ヲ能ク御調査ニナッテ今日ノ時勢ニ相當ナル命令ニ止メ置キクダサラムコトヲ希望スルノデゴザイマス、又此命令ノ適用如何ニ依ッテハ本法ニ記載スベキ性質ノモノモ又命令ヲ以テ發布セラレ得ルノデアリマスカラ、ソレ等ノコトハ成ルベク避ケラレマシテ、本法ニ規定セラルベキ……法律ヲ以テ規定スベキモノハ是ハ次ノ議會デモ又或ハ其次ノ議會デモ宜シウゴザイマスカラ、法律ヲ以テ規定スベキモノハ成ルベク命令ヲ以テ發布セズ、將來之ガ改正案若クハ追加的ノ意味ノ改正案ヲ我々議場ニ御諮リニナッテ、完全ナル工場法案ト云フモノ、將來ヲ期シテ出來ルコトヲ希望イタシマス、斯ノ如キ希望ヲ以テ本員ハ此際此工場法案ニ贊成ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 高木男爵

〔男爵高木兼寛君演壇ニ登ル〕

○男爵高木兼寛君 本員ハ本案贊成ノ一人デアリマス、併ナガラ本案ニ説明シテアリマスル通りノ趣旨ニ全然適フモノト致シテハ贊成イタサヌノデアリマス、即チ各位御承知ノ通り、本案ノ理由書ハ「本邦工業ノ發達ニ伴ヒ工場及職工ノ數益、増加スルニ至リタルヲ以テ之ニ從事スル婦女幼少者ノ勞働ヲ節制シ其ノ他工業ニ伴フ危害ヲ防止スル等工業ノ發達ヲ永遠ニ確保スル制

ヲ立ツルノ必要アリトアルノデアリマス、成ルホド婦女幼少者ノ勞働ヲ節制イタシ其健康ヲ保全スルハ、工業の製作品ノ純良ナルモノヲ出ダス一ノ方法タルニ違ヒナイノデアリマス、此點ニ付イテハ全然同意ヲ致シテ居リマス、併ナガラ此工業ノ保護ト申スモノハ斯ノ如キ所ニ止マルモノデハナイト本員ハ信ジテ居リマス、工業ナルモノハ我が帝國ニ取リマシテ如何ナルモノデアアルカト問ウテ見マスレバ、實ニ國家命脈ノ繫ル所トモ言フベキホドノモノデアラウト信ジテ居リマス、其理由ハ我が帝國ノ人口ハ年々六十有餘萬ヲ増シツ、アルノデアリマス、今日デスラモ我が國內ニ於テ我が同胞ニ供スル所ノ食物ガ闕乏ヲ告ゲテ居リマス、隨ッテ年々數百萬石ノ米ヲ輸入シテ我が同胞ノ食ニ與ヘテ居ル次第デアリマス、將來ニ於キマシテハ如何、即チ今ヨリ百年ヲ經過イタシタナラバ、我が同胞ノ數ハ蓋シ一億五千萬ニ達スルデアラウト思ヒマス、此人口ノ割合ト共ニ農産物ヲ増スコトガ出來ルカト申セバ悲イカナ、國土ノ面積ガ不足ヲ告ゲテ居リマスルカラ、到底及ブコトデハナイノデアリマス、然カスル時ニハ今後増殖スル所ノ我が同胞ハ食フニ食無シト言ハナケレバナラヌ、其食ヲ得ルモノハ何デアアルカト申セバ取リモ直サズ工業の生産物ニ依ルノ外ナカラウト思ヒマス、固ヨリ其他ニモ此方面ニ向ッテ大ニ助ケテナスモノガアルニハ相違ナイノデアリマスルケレドモ、殆ド百万ノ工業者ガ我國ニ居ルノデアリマス、是等ノ者ノ働キニ依ッテ初メテ將來増加スル所ノ我が同胞ハ食物ヲ得ルヨリ外ニ途ハ無イト申シテ、殆ド宜カラウト思フノデアリマス、然ルトキニハ此工業ヲ保護スルコトハ最モ大切デアアル如何ニシテ、之ヲ保護スベキカ、第一ニ我が帝國ノ工業の生産品ノ販路ヲ能ク開クト云フコトハ極メテ大切ナコトデアラウト思ヒマス、此販路ヲ開キ而シテ其販路ノ塞ガラザルヤウニ致スニハ如何ニスベキカ、即チ購買者ノ意ニ適合スルヤウニ生産品ヲ製造イタシテ、販賣スルニアラザレバ到底買手ハ無イト云フ譯ニナル、即チ買手ナクシテ販路ハ塞ガルト云フ譯ニナリマス、即チ販路ヲ益、順境ニ致シ行カムニハ購買者ノ意ニ適スル品物ヲ拵ヘル、其品質ニ致シマシテモ、其價ニ致シマシテモ、其耐久力ニアツテモ、購買者ヲ満足セシムル物ヲ拵ヘテ賣出スト云フコトニ努メナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ悲シイカナ、今日マデノ所デハ工業の製作品ハ到ル處其價ヲ失ヒ實ニ販路ハ西ニモ東ニモ南ニモ塞ガリツ、アルト云フコトハ今日ノ現狀デアリマセウ、故ニ本員ノ望ム所ハ即チ此製作品ガ東西南北ニ於ケル善鄰國ノ人々ノ

好シデ之ヲ買ウテ與レルヤウニナケレバナラヌト思フノデアリマス、斯ノ如キ品物ヲ拵ヘルニハ此法案ニ據ッテ期スルコトハナカクムツカシカラウト本員ハ思ヒマス、如何ニスベキカ、先ヅ以テ私ガ即チ希望スル點ハ外ニゴザイマセヌ、取リモ直サズ工業の道德ノ涵養デアリマス、工業道德トハ少シク新シイヤウナ言葉デアリマスケレドモ、工業家カラ物産即チ生産品ヲ販賣スルニ當リマシテ、其品質ノ如何ヲ問ハズ唯單ニ目前得ル所ガアレバ宜シイトスルノ風ガ多イノデアアルカラ、今日マデ帝國ノ工業の製作品ガ何レニ在ッテモ聲價ヲ墜シツ、アルト申シテモ宜カラウト思ヒマス、付イテハ工業の道德ノ精神ヲ涵養スルコトガ極メテ必要デアリマス、然ルニ此法案ニ於キマシテハ何等工業の道德ヲ涵養スルノ資トナルベキモノガアルカ、成ルホド先刻來贊成家ノ御演說ニ依ッテ見マスレバ間接ナリ直接ナリ多少無イトハ決シテ申シマセヌ、多少アルト思ヒマス、ケレドモ此工業の道德ヲ涵養スルノ方法トシテハ決シテ是ハナラヌノデアリマス、此方面ニ付イテ本員ハ委員外デアリマシタケレドモ政府當局者ニ質問ヲ致シマシタガ、政府當局者ニ於キマシテハ左様ナコトハ法律ヲ規定スルコトハ難イカラ、法律ヲ規定セズ、自ラ方法ノ宜シキヲ擇ンデ以テ之ヲ涵養スルコトヲ努ムル精神デアアル、斯様ニ御説明デアリマシタ、ドウカ政府ノ御説明ニナリマシタル通りデアラムコトヲ希望イタシツ、本員モ之ヲ贊成スルヤウナ考ヘニナツテ居ルノデアリマス、若シモ政府ガ唯此法律ヲ施行スルヲ以テ我が帝國工業ノ發達ヲ永遠ニ確保スルモノデアルト云フガ如キ淡泊ナ御考ヘデアアツテハ甚ダ心外ニ思ヒマス、ソレ故ニ本員ハ此法ノ實施ト共ニ工業道德ノ涵養ヲ盛シニナサレ、同時ニ百萬ニ垂ンタル工業家、即チ職工ノ健康ヲ改良シ、彼等ノ心身ヲ十分ニ活動セシメ、我が工業製作品ノ販路ヲ到ル所ニ擴大シテ、幾ラ産出イタシマシテモ販路ニ窮スルガ如キコト無カラザルヤウ努メラレムコトヲ切望イタス所カラ、諸君ノ清聽ヲ汚シタ次第デアリマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 本案ニ付イテ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵三島彌太郎君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵柳原義光君 贊成

○佐藤秀藏君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開クト云フ三島子爵ノ動議ニ對シテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、鎌田君ヨリ附則ノ所ニ修正案ガ出テ居リマスカラ、唯今問題ニ供シマスノハ第二十五條マデヲ全部問題ニ供シマス、……唯今議長ガ問題ニ供シマシタ各條ハ特別委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、次ハ附則ヲ問題ニ供シマス、鎌田榮吉君ノ登壇ヲ促シマス

〔鎌田榮吉君演壇ニ登ル〕

○鎌田榮吉君 本員ハ此附則ニ修正ヲ致シマシテ、二ツノ項ヲ加ヘタイト申ス希望ヲ有ッテ居リマス、ソレハ「本法ニ基キ發スル命令ハ豫メ高等工業會議ニ諮問スヘシ」ト申スノガ一ツデアリマス、今一ツハ「高等工業會議ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」……「本法ニ基キ發スル命令ハ高等工業會議ニ諮問スヘシ」高等工業會議ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」此二項ヲ最後ノ附則ノ所ヘ持ッテ行ッテ加ヘルト云フコトデアアル、原案デハ附則ニ於テ「本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマス、其次ニ此二項ヲ加ヘルコトヲ發議イタシタノデアリマス、デ本員ノ委員會ニ於テ唱ヘマシタ説ハ是デハゴザイマセヌ、ソレハ本法ニ關シテ發セラレタル行政命令ニシテ、若シ實際ニ行ハレ難イモノ、或ハ其他有害ナルモノハ帝國議會ノ決議ヲ以テ之ヲ取消スコトガ出來ルト、斯ウ云フ項ヲ加ヘタイト云フ希望ヲ述ベマシタ、然ルニ是ハ大分是マデ例ノ無イコトデアリマシテ、少シ餘リ突飛過ギルト云フヤウナ嫌ヒガアルト云フ、委員會ニ於テ御説ガ出マシタ、精神ハ宜シイ、精神ハ宜シイガ、ソレハ少シク都合ガ惡ルイト、其都合ガ惡ルイト云フノハ唯是マデ例ガ無イト云フコトデアリマス、又ソレハ此委任立法ノ弊ト云フモノハ一同ニ之ヲ認メテ居ルノデアアルガ、ソレハ何トカ一般ノ法規トシテ之ヲ定メタナラ

バ宜カラウ、是ハ二十年來ノ弊デアッテ、斯ノ如ク是モ行政命令ニ任カス、アレモ行政命令ニ任カスト云フコトニナッテ來テハ、謂ハユル此憲政ノ精神ト云フモノハ没却サレテ仕舞ッテ、法律ハ帝國議會ニ於テ議定スルトアリマスケレドモ、云々ノ事ハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ムトカ、云々ノ事ハ當局大臣是ガ法ヲ設クルトカ云フコトニナッテ居リマシテハ成ルホド其法ノ精神ニ依ッテ、法ノ範圍内ニ於テ命令ヲ發スルノデアリマスケレドモ、其實ハ殆ド本法ト同ジ位ノ程度ノモノヲ行政命令ヲ以テ發布シ、時ニハ本法以上ノモノガ往々行政命令トナッテ現ハレルコトガ少クナイノデアリマス、故ニ此立法委任ノ弊ヲ矯ムル方法ハ別ニ設クルト云フ途モアリマスカラシテ、是ハ必シモ本員ガ今回ニ於テ……此工場法ニ於テ主張シナクッテモ宜シイノデアリマス、而シテ本員ノ、此行政命令ヲ帝國議會ノ決議ニ依ッテ無効トナスト云フコトハ、全ク此工場法ニ於テ時ニ感ジタノデアリマス、如何トナレバ、此工場法ナルモノハ行政命令ニ委任スル範圍ガ非常ニ廣汎デアアル、例ヘバ第十三條ノ如キ、工場及附屬ノ設備ニ關シ、風紀、衛生又ハ危險等ノ事ニ付イテハ當局大臣ガ行政命令ヲ以テ之ヲ規定スル、其上工場ノ全部若クハ工場ノ一部ヲ停止スルコトヲ得ト云フヤウナ、先刻村田君ノ述ベラレタ如ク、非常ナル廣イ範圍ノコトヲ悉ク當局ノ大臣ニ委任シタト云フコトニナッテ居ルノデアアル、是ハ隨分我々立法者トシテハ考ヘナケレバナラヌ事デアアル、又當業者トシテハ大イニ之ニ付イテ心配ヲシナケレバナラヌコトデアラウト思ハレル、假ニ外國ノ工場法ニ依ッテ見マシテモ、英國ハ勿論ノコト、獨逸ニシテモ、佛蘭西ニシテモ、伊太利ニシテモ、或ハ合衆國、印度ノ工場法等ニ依ッテ見マシテモ是等ノコトハ數箇條若クハ數十箇條ノ條トナッテ現ハレテ居ル、例ヘバ衛生ニ付イテハ云々、云々ト言ッテ數箇條ノ法ガ設ケラレテ居ル、又風紀ノコトニ付イテハ多クノ條ガ設ケラレ、殊ニ危險ト云フコトニ付イテハ幾十箇條ノ條項ヲ設ケテ法律ガ之ヲ規定シテ居ルノデアアル、如何トナレバ是人權ニ關係シ、人ノ財產權ニ關係シ、社會ニ關係スルコトデアリマスカラ、最も重要ナ工場法ノ骨髄ト云フモノハ殆ド十三條ニ規定シテ居ル所ノモノニ大半ハ占メラレテ居ルノデアリマス、然ルニ此大半ヲ占メテ居ル所ノ重要ナル事柄ハ皆第十三條ト云フ一條ノ中ニ包含シテ仕舞ッテ、之ニ付イテノ規定ハ悉ク當局大臣ニ委任スルト云フコトニナッテ居リマス、是ハドウシテモ此儘ニ通ス譯ニハ行カヌ、併ナガラ行政命令ニ任カスト云フコトハ本員モ同意

デアル、餘リ細カイ事ヲ法律ニ規定スルト云フコトハ往々不都合ヲ生ジ、殊ニ是マデ日本ニ於テ經驗ノ無イコトデアリマスカラ、成ルベクハ行政命令ニ委任シテ、法律ハ頗ル簡單ナルヲ貴ブノデアルガ、併ナガラ重要ナ事ヲ行政命令ニ委任スル以上ハ、若シ間違ッタルトキニハ之ヲ正ス法ガ無ケレバナラス、若シ間違ッタトキニハ取消ス法ガ開ケテ居ラナケレバナラス、ソレハ新ニ法律ヲソレニ向ッテ設ケテモ宜シケレバ、又人ノ權利ヲ侵スコトハ訴願スル途モアリマスケレドモ、矢張り法律ハ餘リ設ケタクハナイノデアリマスカラ、作ッテ宜クナイモノハ無効ニシテ仕舞ッテ、更ニ設ケ得ル途ヲ開ク、極ク平易ニ申スト、成ルベク行政官ニ委任シテ、行政當局者ナル者ハ自由自在ニ泳ギ廻ルコトガ出來ル、自由自在ニ法ノ精神ヲ運用シテ、其地方ノ情況ニ依ッテ、其規定ヲ異ニシ、時ノ情況ニ依ッテ其法ヲ異ニシテ自由自在ナル最モ此行政者ノ靈妙ナル働キヲ逞シクスル餘地ヲ與ヘルコトハ本員モ好ム、併ナガラ自由自在ニ勝手ニ泳ギ廻ルコトヲ許シテ、將ニ溺レムトスルトキハ綱ヲ以テ引揚ゲルト云フ途ガ無ケレバナラス、是ハ行政官ノ手腕ニ任カセルガ、何か害ヲ生ズルトカ、又ハ溺ル、ト云フ危険ニ際シテハ、紐ヲ以テ引揚ゲル、一ノ綱ヲ立法部トシテ保留スルノガ最モ大切ナコトデアアル、此保留シヤウト云フ考ヘカラ、ソレヲ提出シタノデアリマシタガ、別ニ立法委任ノコトニ付イテハ何か茲ニ規定ヲ設ケテ、法ヲ設ケテ之ヲ制スルガ宜カラウト云フ御考ヘモ段々アリマシタカラ、是モ至極御尤モノコトデ、理窟ハ宜クテモ餘リ先例ニ飛ビ離レ、餘リ他ノ法ト此法ダケガ異ツテ居ルノハ宜シクナイ、勿論此法ハ是マデノ種々ノ法律ト違ッテ人ノ財産「ポケット」ニ手ヲ入レル位マデ、營業ニ關係シテ人ノ財産人權ニ關係スルモノデアリマスカラ、特別ノ規定ヲ設ケタイトハ思ヒマシタガ、是ハ本員ハ取消シマス、而シテ此事ニ付イテ當局大臣ヨリ段々伺ヒマス所デハ心配ハ無イ、此法案ヲ制定スルニ當ッテモ、當業者、工業主ニモ又労働者ノ代表者ニモ、學者ニモ、經驗家ニモ、議員ニモ、政治家ニモ、ソレ／＼十分ニ協議ヲシテ其説ヲ聞イタ上デ定メタノデアアル、今度命令ヲ發スルニ當ッテモ、矢張り各商業會議所トカ、今日設ケラレテ居ル生産調査會ナドト云フモノニ就イテ意見ヲ叩イタ上デナケレバ行政命令ハ出サナイノデアアルカラシテ、餘リソレニ付イテ憂慮スルニハ及バスト云フ御話デアリマシタガ、然ラバ當局大臣ニ於テモ、此事ハ決シテ獨斷的命令ヲ發セラル、積リデハナイ、十分當業者、直接利害ノ關係アル者、又此コトニ智

識ヲ有スル者、社會全體、國家全體ニ付イテ考ヘテ持ッテ居ル者ニ就イテ之ヲ聞イタ上デ命令ヲ發スルト云フ、斯ウ云フ御精神デアリマス、衆議院ニ於テ決議セラレタ所モ、矢張り其精神ト本員ハ推測シテ、我々委員ニ於テモ矢張り其點ニ於テハ少シモ異議ハナイ、皆同意デアアル、斯ウ云フコトデアリマスレバ、本員ハ此精神ノ在ル所ヲ唯具體的ニ書現ハシタダケデ、本員ノ説デハナイ、當局者ノ説デアアル、又委員ノ説デアアル、或ハ衆議院モ之ニ付イテハ同意ダラウト思ヒマスカラ、其精神ノ在ル所ヲ唯具體的ニ本員ガ茲ニ明記シテ法律ノ附則ニ差シ加ヘヤウト云フマデノ希望デアアル、然ラバ察スル所、滿場諸君ニ於テモ、此修正ニハ御異議ハ無カラウト恐察スルノデアリマス、ソコデ工場法案ハ、政府ノ言ハル、ガ如クニ將來ニ於テ國家ノ労働力ノ保全ヲ圖ルト云フ至極結構ナ趣意デアアル、結構ナ趣意デアリマシテ、大體ニ於テハ贊成ヲスル、贊成ヲシマスガ、之ヲ運用スル上ニ付イテハ餘程十分ナル調査ヲ遂ゲ、十分親切ノ考ヘデ致シマセスト云フト、隨分弊害ガ起ル、工場法其モノハ決シテ惡ルクハナイ、惡ルクハナイガ、運用ヲ誤ッタトキハ隨分國家ノ爲ニ大損害ヲ來タスヤウナコトガアリハシナイカト思ハレルノデ、ソレヲチヨット申シマスト云フト、今日日本ハ如何ナル境遇ニ立ッテ居ルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、日露戰爭ノ後ヲ承ケマシテ實ニ困難ナ地位ニ立ッテ居ルノデアアル、戰爭ノ爲ニ負ウタ所ノ點カラ申シテモ二十億ト云フ大シタ負債ヲ有ッテ立テ居ルト云フ今日ノ境遇デアアル、然レバ生産力モ荷モ損スルト云フコトハ少シデモアツテハナラス、益、拮据勉勵シテ此國家ノ生産力ヲ増加スルコトニ努メナケレバナラスノデアリマス、然ルニ工場法ノ運用ヲ誤ッタガ爲ニ、國家ノ生産力ヲ損シタト云フ例ハ歴々アリマス、歐羅巴ニ於テモ伊太利ノ如キハ其最モ著シイ例デアアル、現ニ物ト物ト比較イタシマスルト、北米合衆國ニ於テハ、州ニ於テ工場法ヲ設ケル、南部諸州ハ勿論、北部ニ於テモ工場法ヲ設ケナイ州モアル、設ケタ州モアル、併ナガラ設ケタル州ハ設ケナイ州ニ競争上常ニ敗北ヲ取ッテ居ル、生産場裡ニ於テハ常ニ不利ノ地位ニ立ツト云フコトハ近來ノ例ニ於テ歴々現ハレテ居ルノデアリマス、然ルニ日本ハ此向フ河岸ニハ支那ト云フ大國ヲ有ッテ居ル、此支那ノ労働者ナルモノハ非常ナル廉イ労働者デアアル、支那ノ労働者ホド忍耐ノ強イ者ハナイ、支那ノ労働者ホド生計ノ廉イ者ハナイ、而シテ仕事ニ付イテハ非常ナル熱心デ、又忠實ナルコトモ世界第一等ニ位スル所ノ支那ノ労働者デアアル、又支那ノ

資本家モ洪大ナル資本ヲ有ッテ居ル、ノミナラズ歐羅巴各國ガ皆、歐羅巴富  
裕ノ國ノ人ガ皆此支那ニ來テ或ハ獨逸、或ハ英國、或ハ亞米利加、佛蘭西、  
其他種々ノ歐羅巴ノ富裕ナル富力ニ富シタル資本主ガ來テ支那ノ労働者ヲ用  
キテ種々ノ工業ヲ營ミ種々ノ工業ヲ營マムトスルト云フコトハ今日諸君ノ目  
前ニ御覽ニナッテ居ルコトデアアル、然ルニ若シ日本ガ工場法ヲ作ッテ其工場  
法ヲ拘子定規ニ此工場法ヲ拙劣ニ運用シタナラバ、忽チ世界ニ於ケル殊ニ東  
洋ニ於ケル生産界ノ落伍者トナルニ至ルコトハ、是ハ申スマデモナイコトデ  
ゴザイマスル、實ニ之ヲ考ヘルト云フト我々ハ容易ニ此工場法ヲ規定スルコ  
トハ出來ナイノデアアル、實ニ恐ロシイ、然ラバ此工場法ヲ運用スル爲ノ行政  
命令ナルモノハ最モ實際的ニ最モ實際ノ事情ニ能ク適合シテ決シテ形式ノ爲  
ニ其精神ヲ誤ルガ如キコトガアッテハ實ニ國家ガ百年ノ計ヲ誤ルト申スモノ  
デアアル、其上ニ隨分此工場法ヲ又濫用シ誤用スルトキニハ先刻來段々御説ノ  
アリマシタ所ノ日本ノ家族ノ圓滿ナル關係、主從的ノ關係、君臣的ノ關係  
ヲ破壞シテ歐洲各國デ其弊ニ苦シデ居ル所ノ資本家ト労働者ノ關係ガ純然タ  
ル法律ノ關係トナリ、冷淡ナル所ノ間柄ニナッテ、工場法ニ於テ例ヘバ十二  
時間ト規定シタトキニ工場主ハ十二時間ト五分イタシタカラシテ違法デア  
ルト云ッテ訴訟ヲスルナド、云フヤウナ甚シキコトニ立チ至ルマイトモ申サレ  
ナイノデアリマス、是ハ餘程大切ナコトデ全ク法律ツクメニナッテ仕舞ッテ、  
斯ノ如キ規定ガアルニモ拘ラズ我々ヲ斯ノ如キ境遇ニ處シタト云フノデ、直  
グ之ヲ訴ヘルト云フコトニナリマス、實ニ我國ノ美風タル此工場主及労働  
者ノ間ノ圓滿ナル關係ハ益、破壞サレテ誠ニ忌ムベキ所ノ間柄ニナルト云フ  
コトハ是ハ諸君ニ於テモ夙ニ憂ヘラル、所デアルト私ハ察シテ居ル、先刻桑  
田君モ幾々御説ベニナリマシタガ、成ルホド桑田君ノ御説ノ如ク歐羅巴ト雖  
モ矢張り舊トハ主從的關係デアアル、歐羅巴ト雖モ舊トハ家族的關係デアアル、ト  
コロガ産業革命ノタメ段々ニ蒸氣ヲ用キマシテ非常ニ工場ト云フモノガ廣大  
ナモノニナッテ、百人ノ人ヲ使フ千人ノ人ヲ使フト云フヤウナ恐ロシイ廣大  
ナモノニナリ、又機械力ヲ以テ總テノコトヲ爲スガ爲ニ、殆ド人ヲ以テ機械  
ノ一部分トシテ使フ所ノ有様ニナッテ來タノダ、ソコデ歐羅巴ニ於テ謂フ所  
ノ工業軍、工業ノ軍隊ニナッテ仕舞ッタ、歐羅巴ノ労働者ハ一ツノ階級ヲ成  
シテ日本ノヤウナモノデハナイ、労働者ノ家ニ生レタ者ハ生涯眞黒デ労働者  
デ終ル其子モ労働者デアアル、殆ド昔日ノ奴隸ニ異ラナイ、然ルニ日本ノ工業

主ハ餘程又狀態ガ異ナッテ例ヘバ紡績ノ工女ノ如キモノハ何デアルカ、先ツ  
嫁入前數年ノ間工場ニ働イテ嫁入ノ仕度デモ出來タナラバ他ヘ御嫁ニ行カウ  
ト云フ位ナモノデアリマスカラ、是ヘ以テ行ッテ餘リ規則的ニ餘リ拘子定規  
ニ歐羅巴流ニヤラル、ト云フト又是ハ隨分困ルコトガアルノデス、併ナガラ  
私ノ考ヘデハ桑田君ノ御考ヘトハ少シ違ヒマシテ今後日本モ益、西洋流ニナ  
ッテ此工場ナルモノガ大ナル仕組ニナッテ來ルト云フコトニ付イテハ少シ疑  
ヒガアル、ナゼ疑ヒガアルト云フノニ此蒸氣ト云フモノハ十九世紀ノ間ニ非  
常ニ發達シタモノデ十九世紀ノ間ニハ蒸氣ヲ使ッテ此大キナ工場組織ガ出來  
タノデアリマスケレドモ、今日ハ諸君ノ御承知ノ如ク電氣ト云フモノガ大變  
勢力ヲ得テ來テ、電氣ノ力ヲ用キルコトニナルト、是ハ蒸氣ト違ヒマシテ工  
場ノ有様ガ大分變ッテ來ル、蒸氣ヲ使ヒマスト云フト原動力ノ在ル所ニ附屬  
シテ段々工場ヲ建増シテ行ッテ、ソレノ調革モ段々長クシテ續ケルコトニナ  
ッテ殆ド工場ト云フモノハ一ツノ兵營ノ如クナリマスケレドモ、電氣ニナレ  
バ先ツ之ヲ或ハ家ニ分配シテ、動力ヲ家ニ分配シテ銘々ニ使フト云フ  
コトニシテ、其線ツタ所ノ絲ナリ縫ツタ所ノ布ナリ又集メテ一箇所ニ集合  
スルト云フヤウナ仕組ニ致シマシタナラバ、殆ド日本昔日ノ家庭工業ノヤウ  
ナ狀態ニ舞ヒ戻ルコトモ出來ヌコトハナイト思ッテ居ル、殊ニ工場法ハ十五  
年以後夜業ヲ禁止ストアリマスガ、十五年以後ニハ稍、斯ウ云フ狀態ニナ  
デ居ルカモ知レマセヌ、併ナガラ本員ハ其點ハ素人デアリマスカラ確言スル  
譯ニハイカス、然ラバ成ルベク此家族的關係ト云フヤウナモノ、或ハ主從ノ  
關係ガ維持セラレ得ルナラバ之ヲ維持シ得ルヤウナ方法ヲ以テ行キ、サウシ  
テ今米國ノ或ル州ガ他ノ州ニ對シテ劣敗ノ位置ニ立チ、或ハ歐羅巴ノ或ル國  
ガ他ノ國ニ對シテ劣敗ノ位置ニ立ツガ如キコトヲ今、日本ガ支那ニ對シテ受  
ケタクナイモノダ、將ニ大ニ工業ヲ進メムトシテ居ル支那ニ對シテ日本ガ劣  
敗ノ位置ニ立ツト云フコトハ恐ルベキコトデアリマスカラ、是ハドウシテモ  
喰止メナケレバナラヌトシタナラバ、是ハ主トシテ行政命令ノ如何ニアルト  
思ヒマス、然ラバ此命令ヲ發スルニ當ッテ成ルベク此當業者即チ工場主又ハ  
労働者ノ利害ヲ代表スル所ノ者、或ハ其事ニ付イテノ學識ヲ有スル所ノ人、  
又ハ經驗ヲ有スル所ノ人、其他全體ニ國家ノ利害カラ打算シテ此事ニ考ヘテ  
回ラサル、人ヲ以テ組織シタル一種ノ會議ヲ起シ、高等工業會議トデモ申ス  
モノヲ起シタナラバ、之ニ必ズ諮問ヲスル、唯政府ノ都合ニ依ッテ或ハ諮問

シ或ハ諮問シナイト云フコトデナクテ、必ズ之ニ諮問スルト云フコトニナリ  
マシタナラバ、餘程其弊ヲ防グニ足リルト思フ、是モ各國ノ例ヲ調ベマシテ  
モ色々ニナツテ居ル、此行政命令ニ任カスコトノ出來ナイモノハ、成ルベク  
法律ヲ以テ規定シマスケレドモ、據ロナク行政ノ命令ニ任カスコトハ決シテ  
之ヲ獨斷的ニヤラセナイノデアル、ソレデ或ル國ニ於テハ之ニ何十日カノ日  
限ヲ與ヘテ、若シ行政命令ヲ發スルナラバ百日以前ニ最モ讀ミ易キ言葉ヲ以  
テ最モ平易ナ文章ヲ以テ、最モ人ノ見易キ場所ニ之ヲ揭示シ、或ハ新聞紙其  
他ニ之ヲ揭示シテ當業者及労働者其他一般公衆ノ注意ヲ惹クヤウニシテ、而  
シテ之ニ異論ノアル者ハ自由ニ當局者ニ申出ルト云フコト、其申出タコトヲ  
以テ之ヲ高等工業會議ナリ、其他ノ調査ニ付シマシテ參考ニ供シ、而シテ之  
ヲ定ムルト云フコトニナツテ居ル所ガ間々アルヤウデアリマス、又サウデナ  
クツテ之ヲ議會ニ提出シテ議會ノ一院ニ於テ否決シタモノハ之ヲ出スコトハ  
シナイ、當業者ノ一人ガ異議ヲ挾ンダトキハ之ヲ調査セシメルト同時ニ帝國  
議會ニ提出シテ議會ニ於テ若シ否決セラレタトキニハ命令ヲ取消サナケレバ  
ナラヌト云フ種々ノ法ヲ設ケテ居ル國ガアリマスガ、是ハ國々ノ事情ニ依ッ  
テ違ヒマスガ、免ニ角我國デハ高等工業會議ト云フモノヲ置イテ必ズ之ニカ  
ケルト云フコトニ致シマセスト、隨分是マデノ法律ヲ見ルト歐羅巴ノ法律ヲ  
翻譯シタヤウナモノガ多イノデ、之ガ爲ニ困難ヲ感ズルコトガアル、工場ニ付  
イテハマダアリマセヌガ、例ヘテ言ヘバ學校ニ關スル法律、此小學校設備規  
則ナドヲ見ルト隨分飛ンデモナイコトヲ規定シテアツテ、而シテソレガ金ノカ  
、ルコトデアアル、今日町村ニ於テ七千万圓ノ金ヲ使ツテ居ル、之ヲヤルノニ  
謂ハユル行政命令デヤツテ居ルノデアアルガ、隨分金ヲ浪費シテ居ルコトガ或  
ハ其中ノ大部分ヲ占メテ居リハセヌカト思フ、其例ヲ舉ゲテ見ルト澤山アリ  
マス、隨分非常識ナコト、我國ノ例ニ嵌マラスコトガアリマスガ、是ハ此所デ  
ハ長クナリマスカラ申シマセヌガ、農商務大臣或ハ農商務大臣以下ノ當路ノ  
人ハ十分親切ニ御考ヘニナリマセウケレドモ、隨分骨ヲ編ミ出シテ本ヲ作ル  
所ノ人ハ下級ノ學校ヲ出タバカリノヤウナ人ガ外國ノ本ヲ讀ンデ翻譯スルノ  
デアアルカラ、ドウシテモ、先入主トナツテ、色々添削ヲ加ヘテモソレガ規則ト  
ナツテ出テ來ルノデ、ソレガ様々ノ禍ヲ爲スノデアリマス、ソレハ彼ノ人ハ  
彼ノ人トシテ如何ニ親切ニ考ヘテモ矢張り當業者ノヤウニハ能クイカヌ、又  
資本主ハ如何ニ考ヘテモ労働者ノ爲ニ利害ヲ選擇スルコトハ出來ヌ、身勝手

ナモノデ……其結果ハ皆自家本位ニ陥ルノガ例デアリマスカラ、ソコデ高等  
工業會議ヲ組織セラレテ、會議ニ必ズ諮問シタ上デナケレバ行政命令ヲ出サ  
ナイト云フコトニ御決心ヲ願ヒタイ、是ハ當局大臣ニ於テモ常ニ御考ヘニナ  
ツテ居ルコトデ、其他一般ノ人ノ皆同意ヲ表スルコトデアリマス、今日ニ至  
ツテ修正ヲ出スト云フコトハ甚ダ如何ナコトデ、誠ニ御氣ノ毒ナ次第デアリ  
マスガ、是ダケハ滿場一致ヲ以テ御贊成アラムコトヲ本員ハ希望スル次第デ  
アリマスカラ、是ダケノ事ヲ簡單ニ申上ゲマス

〔國務大臣男爵大浦兼武君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵大浦兼武君) 唯今鎌田君ノ御意見ニ對シテ茲ニ一言申上ゲ  
タイト存ジマス、鎌田君ノ御意見ニハ形式上ニ於テ遺憾ナガラ茲ニ不同意ヲ  
言明イタシマス、其理由ハ此工場法案ト云フモノハ御承知ノ通り、我國家ノ産  
業ノ發達ヲ最モ圓滿ニ實行イタシタイト云フ趣意デ以テ、數年來或ハ全國ノ  
アラユル機關、團體ニ諮詢ヲ致シマシテ、サウシテ茲ニ問題トナツタ譯デゴザ  
イマス、將來モ亦矢張り其精神ヲ以テ圓滿ニ之ヲ實行シナクテハナラヌノデ  
ゴザイマシテ、謂ハユル勅令省令ノ如キモノハ先刻、委員長ヨリ報告ニナリ  
マシタ通り矢張りアラユル機關ニ諮詢シテ、サウシテ是ガ實行ヲ圖ツテ國家  
ノ生産ノ益、増進セムコトヲ考ヘテ居ルノデゴザイマシテ、鎌田君ノ此法律  
ニ掲ゲルト云フ形式上ニ於テハ茲ニ反對ヲ言明イタシマスルカラシテ、何卒  
原案ノ通り速ニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵廣澤金次郎君 チョット質問ガアリマスガ、唯今農商務大臣ハ鎌田君  
ノ修正說ハ遺憾ナガラ形式ニ於テ反對ヲセザルヲ得ヌト云フ御意見デアツタ  
カト考ヘマスルガ、然ラバ私ハ一ツ伺ヒタイノハ、鎌田君ノ修正ハ別ノ問題  
ト致シマシテ、農商務大臣トシテハ鎌田君ノ修正說トシテ提出サレタ精神ハ  
御贊成デアルカ、即チ名ハ何デモ宜シウゴザイマスガ、將來ニ於テハ工業家  
其他ノ特別ノ知識經驗ヲ有スル者ヲ以テ將來ノ帝國工業ノ發達ノ爲ニ、謂ハ  
ユル高等工業會議ト申シマスカ名ハ何デモ宜シウゴザイマスガ、斯ノ如キ機  
關ヲ設ケラル、ト云フ御精神ハ有ルカ無イカト云フコトヲ一言承ツテ置キタ  
イト思ヒマス

○國務大臣(男爵大浦兼武君) 唯今、廣澤伯爵ノ御質問ノ別ニ機關ヲ設ケル  
ト云フコトハ、今政府ハ生産調査會ト云フ最モ適當ナル機關ヲ設ケテ居リマ  
スカラ、ソレヨリ外ニハ設ケナイ精神デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、鎌田君ノ修正案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス、特別委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵三島彌太郎君 此際直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ……

○子爵堤功長君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開クト云フ三島子爵ノ説ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會決議ノ通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵廣澤金次郎君 私ハ動議ヲ提出イタシマスガ、今日ハ時刻モ大分ニ過ギマシタガ、マダ明日會期ガ一日アリマスカラ、日程ノ第二十三以下ハ明日ニ延期スル動議ヲ提出イタシマス

〔「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 廣澤伯爵ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、明二十一日ノ議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會ヲイタシマス

午後七時九分散會